

# 復帰 40 年の沖縄と安全保障

～「沖縄県民調査」と「全国意識調査」から～

世論調査部 河野 啓 / 小林利行

時系列の変化と全国との比較によって、沖縄の人の意識を多角的・長期的・立体的に捉えようと試みたのが本稿の特徴である。

沖縄では、経済発展に関して「美しい自然を生かした観光振興」を望んでいることがうかがわれた。経済発展の後押しとなる国の振興策については、沖縄・全国とも、その有用性や継続の必要性を多くの人が理解している。しかし、「今後は必要ない」という人が沖縄より全国で多くなっているなど、微妙な意識の違いも表れている。

「天皇は尊敬すべき存在」「憲法改正必要あり」「安全のため米国との協力関係続ける」と考える人が、10年前の前回調査より増えているが、全国と比べると少ない。

復帰後も米軍基地が残っていることについて、「日本の安全にとって必要」「やむをえない」が合わせて56%と、この40年で初めて過半数となった。しかし、沖縄の米軍基地について『削減すべき』（「全面撤去」+「本土並みに少なく」）と考える人はこの質問を始めて以来、30年一貫して8割近くとなっている。また、在日米軍の専用施設の74%が沖縄に集中していることについては、「おかしい」が57%と多数である。米軍普天間基地の名護市への移設問題については、『反対』（「どちらかといえば」も含む）が72%を占めた。いずれも、全国より多い。また、米軍基地の整理縮小が「進んでいない」と多数の人が感じている。

安全保障、米軍基地問題では全国と沖縄の意識の違いが多くみられ、沖縄の方が否定的な考えを持つ人が多い。本土の人は沖縄の人の気持ちを『理解していない』（「あまり」+「まったく」）という人が多数となっている。

## はじめに

2012年5月15日、沖縄は本土復帰40年を迎えた。NHKではこれに先立ち、2012年2月18日（土）～3月4日（日）にかけて20歳以上の沖縄県民1,800人に対して個人面接法で世論調査を実施した。有効回答者数は1,123人で、回答率は62.4%だった。

沖縄県民に対する調査は、復帰前の1970年から継続的に行われていて、今回を含めてこれまでに10回実施されている<sup>1)</sup>。さらに今回は、沖縄県民と国民の意識の違いをみるために、全国調査も同時期に行った。全国調査は、2012年2月18日（土）～26日（日）にかけて全国の20歳以上の1,800人に対して個人面接法で実施し、回答率は62.1%だった<sup>2)</sup>。時系

列での変化に加えて、全国との比較もできるということが今回の調査の特徴である。

表1に、太平洋戦争中から現在までの沖縄に関する主な出来事を挙げた。1972年の復帰以降、沖縄では、海洋博（75年）や国体（87年）、それにサミット（00年）などが開催された。その一方で、米兵による少女暴行事件（95年）や沖縄国際大学への米軍ヘリ墜落（04年）といった、米軍基地を抱える地域ならではの問題も起きている。

本稿は、以下の5つの章で構成されている。

1. 復帰 40 年と振興策の評価
2. 天皇観・憲法観
3. 安全保障意識
4. 沖縄の米軍基地について
5. まとめ

（1～3を小林、4、5を河野が担当）

なお、調査概要と単純集計結果を「沖縄調査」「全国調査」とも20～31ページに掲載している。本稿内で、詳細なデータや具体的な質問文を確認したいときは、これを参照されたい。

表1 沖縄に関する主な出来事

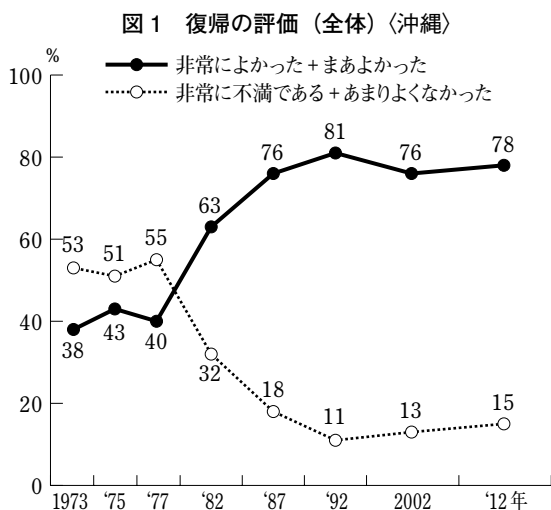
年	復帰前後年数	
1945	- 27	米軍沖縄に上陸、沖縄戦
1951	- 21	日米安全保障条約調印(旧安保)
1952	- 20	サンフランシスコ平和条約発効、沖縄・奄美、米軍の施政権下に
1960	- 12	安保条約改定(新安保)
1965	- 7	米国がベトナムの北爆を開始
1969	- 3	日米共同声明(沖縄返還)
1972	0	本土復帰
1973	1	オイルショック(第1次)
1975	3	国際海洋博覧会開催 ベトナム戦争終結
1978	6	交通方法、日本式に変更 保守県政誕生
1987	15	第42回国民体育大会(海邦国体)開催
1989	17	県、新石垣空港白保海上案を断念
1990	18	革新県政に交代
(1990)	(18)	バブル経済崩壊
1991	19	湾岸戦争
1992	20	首里城復元
1993	21	天皇・皇后初の沖縄訪問
1995	23	「平和の礎」建設 米兵による少女暴行事件 沖縄に関する特別行動委員会設置
1996	24	普天間基地の返還合意
1997	25	名護市住民投票で普天間移設反対が多数
1998	26	保守県政に交代
2000	28	サミット開催 琉球王国のグスクなどが世界遺産に
2001	29	米国同時多発テロ
2004	32	沖縄国際大学に米軍ヘリが墜落
2008	36	世界金融危機(リーマンショック)
2009	37	民主党政権誕生
2010	38	尖閣諸島周辺で中国漁船衝突事件 北朝鮮軍、韓国ヨンピョン島砲撃事件 普天間「県外」に転じた仲井真氏知事再選
2011	39	東日本大震災 円高進む 金正日総書記死去
2012	40	新たな沖縄振興計画スタート

## 1. 復帰40年と振興策の評価

### (1) 高評価続く「本土復帰」

復帰から40年、県民はこれまでの歳月を振り返って、本土復帰自体をどう感じているのだろうか。

本土復帰についてどう思うかと尋ねたところ、「非常によかった」「まあよかった」と肯定的に回答した人は合わせて78%にのぼった(図1)。



肯定的な回答を時系列で長期的にみると、77年から87年にかけて急に伸び、それ以降、75%から80%程度で推移している。87年時の調査結果の分析<sup>3)</sup>では、復帰したことによる県民の経済・生活面での向上、本土との一体感の機運の高まりなどを復帰評価が上昇した理由として挙げている。

確かに、「暮らし向き」に関して尋ねた質問では、1年前に比べて『苦しくなった』(「少し苦しくなった」含む)<sup>4)</sup>という人が73年から92年にかけて減少していて、経済・生活の向上と連動していることがわかる。しかし、02年以降は、『苦しくなった』が増加しているが、復帰評価は

下がっていない。経済・生活面と連動することなく、安定的に評価されていることが分かる。

復帰40年の評価が全体として高いのは事実だが、もう少し詳しくみると、年層別の評価に注目すべき点がある。

「非常によかった」(全体23%)を年層別にみると、復帰前の状況を知らない、もしくはほとんど覚えていない20～40代で25%前後になっているのに対して、復帰前のことを知っている50・60代で20%弱となっているのである(70歳以上は25%)。50・60代でも多くの人々が復帰を評価していることに変わりはないが、復帰前を知る50・60代の評価が、20～40代より低くなっていることには留意したい。

## (2) 「人間関係の温かみ失われる」徐々に増加

復帰40年の感想を、選択肢を挙げていくつでも答えてもらった。「自然が損なわれた」が54%と一番多く、「人間関係に温かみが失われてきた(33%)」や「教育水準が高くなった(32%)」などが続いている(図2)。

時系列でみると、「自然が損なわれた」は92年に72%に達している。この時期は、バブル

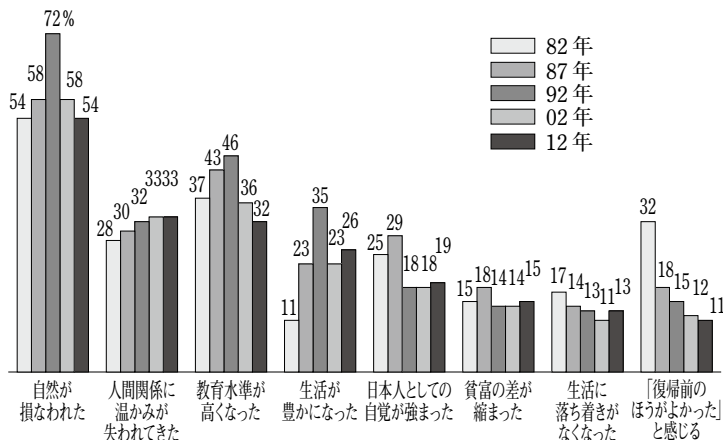
経済などの影響で、沖縄のリゾート開発が急速に進んだ後であり<sup>5)</sup>、これに対する危機感の表れだと思われる。今回の調査でも、半数以上が「自然が損なわれた」と考えているが、景気低迷などで開発が落ち着いてきたことと呼応するように、92年をピークに減少傾向が続いている。

こうした中、徐々にではあるが増加しているのが「人間関係に温かみが失われてきた」である。人間関係については、長期的な調査<sup>6)</sup>で、全国的に人びとが望む他の人との付き合いの程度が薄くなっていることが分かっており、沖縄だけの傾向ではないと思われる。

ただ、NHKが96年に実施した「全国県民意識調査」によると<sup>7)</sup>、「この土地の人びとの人情が好きか」という質問に対して、沖縄県の人々は85%が「はい」と回答していて、全国でトップであった。「地元の人情が好き」という意識の高さは、沖縄県人の特色の1つなのである。

こうした沖縄でさえ、「人間関係に温かみが失われてきた」と考える人が徐々に増え、今回、選択肢の中で上位に位置したことは注目すべきであろう。

図2 復帰の感想(複数回答・全体)(沖縄)

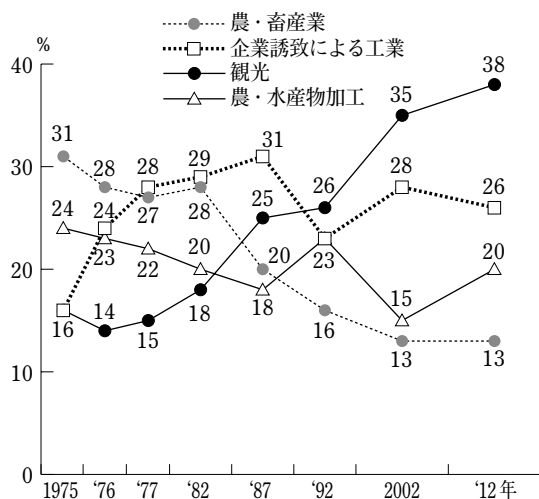


## (3) 「観光」に活路

沖縄県民は、経済発展のためにどんな産業に力を入れるべきだと思っているのだろうか。4つの産業を選択肢として挙げて、最もよいと思われるものを1つ選んでもらった。

今回の結果は、「観光(38%)」「企業誘致による工業(26%)」「農・水産物加工(20%)」「農・畜産業(13%)」の順となっている(図3)。

図3 経済発展のために良いと思われる方向  
(全体)〈沖縄〉



長期的な傾向を大まかにいえば、「観光」は増加傾向、「企業誘致による工業」「農・水産物加工」は横ばい、「農・畜産業」は減少傾向となっている。特に、ここ20年の「観光」の伸びは大きい。

2000年には、県民の熱心な運動もあって、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産に登録された。また、08年には琉球大学に「観光産業科学部」が設置されている。こうした動きを考え合わせると、観光業に活路を見出そうとする沖縄県民の意識がうかがえる。

また、「観光」と答えた人を年齢別にみると、若い人ほど多くなる傾向があり、今後も観光業へ期待が高まることが予想される。

今回の調査からは、県民が望む「観光」のあるべき姿も読み取れる。沖縄の目指す方向性について「開発優先か自然保護優先か」という問いには、8割近い人が『自然保護を優先すべきだ』（「どちらかといえば」を含め）と答えている。また、「沖縄のどんなところに誇りを持っているか」という質問には、7割近い人が「美しい自然」（複数回答）と回答している。

「沖縄が本来持っている自然の美しさを生かしながら観光振興につなげていきたい」といった沖縄県民の「観光」に対する姿勢がうかがわれる。

#### (4) 今後の「振興策」に全国との差

1972年の本土復帰にともなって、本土との経済社会基盤の格差是正などを促すため、「沖縄振興開発特別措置法」が制定された（02年からは自立を重視した「沖縄振興特別措置法」）。これに基づいて10年ごとに振興計画が策定され、これまでの40年間におよそ10兆円が費やされてきた。また、他の都道府県よりも高い補助金が受けられるなどの特別な施策も実施されている。

沖縄に対する振興策については、最近の国の厳しい財政状況を考慮した上で、「費用対効果の点で、十分国民に対して説明のつくものかどうかを検証することも必要」という指摘もある<sup>8)</sup>。

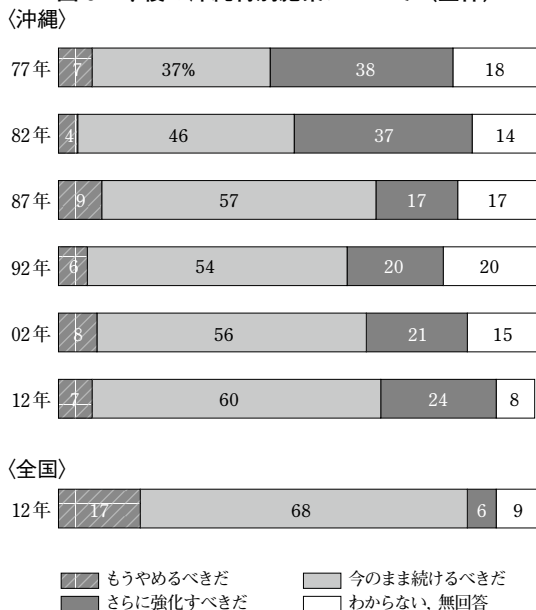
こうした状況を踏まえて、今回の調査では、これまでの沖縄の振興策がどの程度役立ったかを沖縄県民と全国民に尋ねている。

沖縄・全国とも7割近くの人が『役立った』（「非常に」＋「ある程度」）と答えていて、沖縄と全国の差がほとんどない（図4）。沖縄でも全国でも同じように、多くの人がこれまでの振興策について評価しているのである。

図4 これまでの沖縄振興策役立ったか（全体）



図5 今後の沖縄特別施策について (全体)



さらに今回の調査では、今後の沖縄に対する振興策についても質問していて、「今のまま続けるべきだ」という人が沖縄で60%、全国で68%となった(図5)。

今までの振興策評価と合わせて、沖縄・全国とも「これまでの振興策は評価するし、今後もこのまま続けるべきだ」という人が多数を占めていることが分かる。

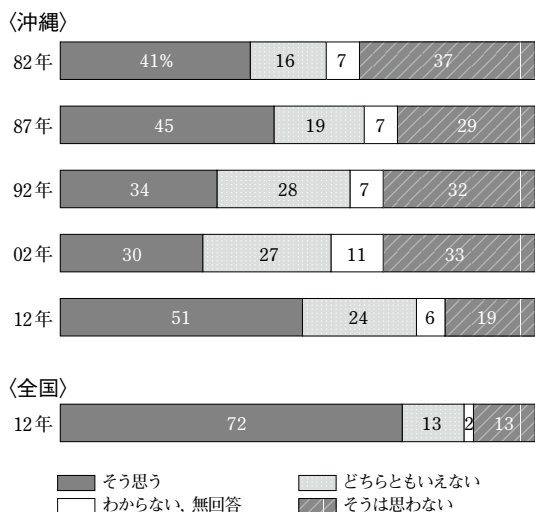
しかし、今後の振興策については、「もうやめるべきだ」が沖縄7%に対して全国17%、「さらに強化すべきだ」が沖縄24%に対して全国6%と、沖縄と全国で微妙な意識の違いが表れている。

## 2. 天皇観・憲法観

### (1) 「天皇尊敬すべき」大幅増

太平洋戦争中、国内で唯一地上戦を経験した沖縄において、県民はどんな「天皇観」「憲法観」を持っているのだろうか。まず「天皇

図6 天皇は尊敬すべき存在か (全体)



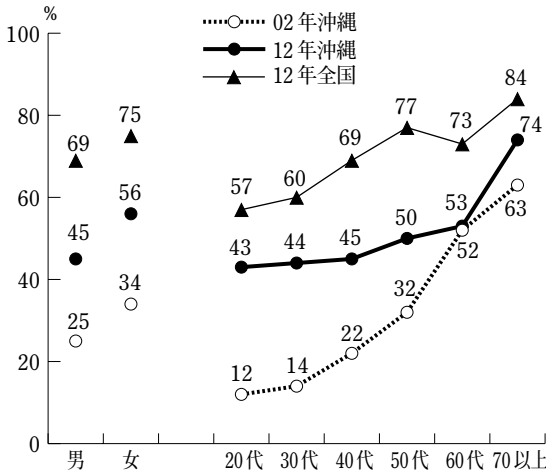
観」からみていきたい。

図6は、「天皇は尊敬すべき存在だ」と思うかどうか尋ねた結果である。沖縄では今回およそ半数の人が「そう思う」と答えている。これは前回02年の結果(30%)より大幅に増えている。11年の東日本大震災後の被災地訪問などの活動も、少なからず影響していると思われる。なお、長期的にみると87年から92年にかけて「そう思う」という人が減っていて、「どちらともいえない」が増えているが、この間には、昭和天皇が崩御して今の天皇が即位している(89年)。

「そう思う」という人は、全国ではさらに多く、72%を占めている。沖縄の今回の結果は、過去よりは増えているが、全国と比較すればまだ少ないということになる。

「そう思う」という人を、今回・前回(02年)・全国の3つに分けて年層別に示したのが図7である。沖縄の前回から今回にかけての変化に注目したい。今回は10年前に比べて20~40代で増えている、年齢が高くなるほど「そう思う」という人が増えるという傾向に変わりはないものの、10年前に比べて年層間の差が縮まっている。

図7 天皇は尊敬すべき存在か  
 (「そう思う」男女・年層別)

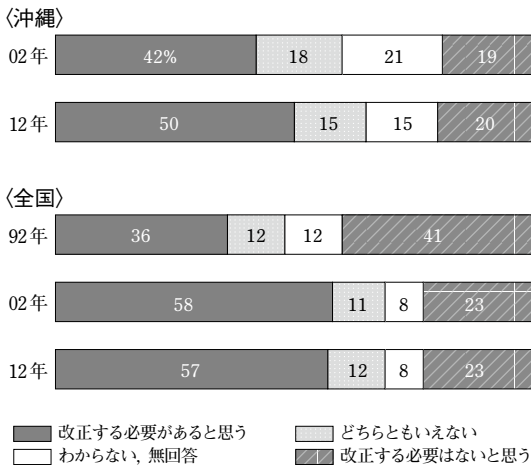


(2) 「憲法改正必要あり」半数

次に「憲法観」についてみる。「今の憲法を改正する必要があるかどうか」と尋ねたところ、沖縄では半数の人が「改正する必要あり」と答えている。これは、前回10年前の結果(42%)と比べて増加している(図8)。

「憲法観」に関しては、全国でも時系列比較が可能である。全国では92年から02年にかけて

図8 憲法改正の是非(全体)



て「必要あり」という人が大幅に増えて6割近くとなった。そして、今回もその割合はほとんど変わらなかった。

「必要あり」を沖縄と全国で比べると、02年沖縄42%・全国58%，12年沖縄50%・全国57%と、その差は縮まっているものの、全国の方が多くなっている。

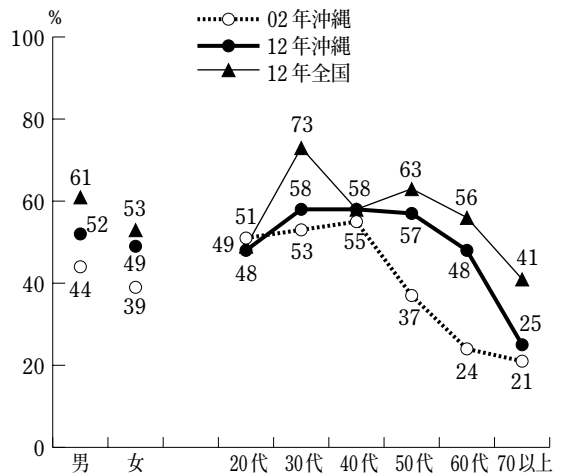
「憲法改正必要あり」という人にその理由を聞いたところ、沖縄・全国とも70%以上(該当者分母)の人が「時代が変わって対応できない問題が出てきたから」と回答している。

今回・前回(02年)・全国を年層別にみてる。沖縄の前回から今回の動きに注目すると、50・60代で増えていて、今回の沖縄では、30～50代で6割近い人が「必要あり」と答えている(図9)。

憲法自体の改正に対しては、「必要あり」が沖縄で半数だったが、いわゆる“戦争放棄”を定めた「9条の改正」となると、「必要あり」24%、「必要なし」55%となる。この割合は全国でもほとんど変わらない。

沖縄にも全国にも、憲法の改正は必要だが

図9 憲法改正の是非(「必要あり」男女・年層別)



9条は変えるべきではない、といった意識を持つ人が多いようだ。

### 3. 安全保障意識

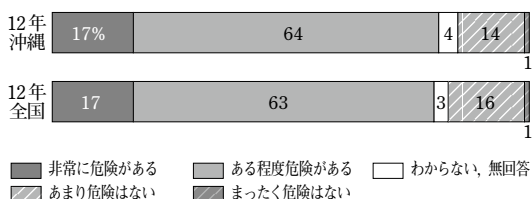
#### (1) 意見別れる「日米同盟」今後の在り方

近年、中国の軍事力増強や北朝鮮による弾道ミサイル実験など、人びとの安全保障意識に影響すると思われる動きがある。

安全保障問題に関して、沖縄と全国では意識に違いがあるのだろうか。まず、「侵略の危険性」についてみる。

「日本が他国から侵略を受ける危険性がどの程度あるか」と尋ねたところ、『危険がある』（「非常に」+「ある程度」）という人は、沖縄・全国ともおよそ8割を占め、大多数の人が何らかの危険性を感じていることが分かる（図10）。『危険がある』の内訳をみると、「非常に」が沖縄・全国とも17%、「ある程度」が沖縄64%・全国63%と良く似ている。「侵略の危険性」の認識については、沖縄と全国の差はほとんどないのである。

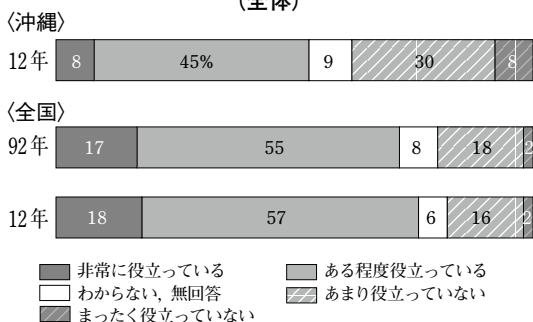
図10 日本が侵略を受ける危険性（全体）



「侵略の危険性」については差はないが、その侵略を防ぐ方法の一つと考えられる「日米安保」については、沖縄と全国で意識の差が出ている。

図11は、「日米安全保障条約が日本の平和と安全にどの程度役立っているか」と尋ねた結果である。沖縄では『役立っている』（「非常に」

図11 日米安保、日本の平和に役立っているか（全体）

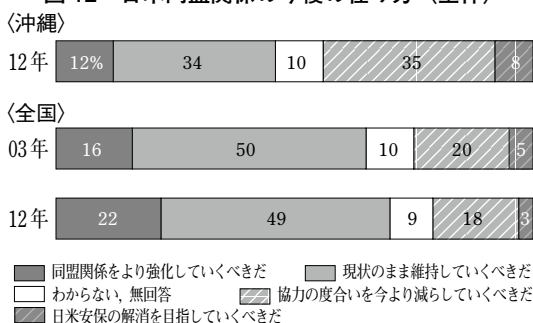


+「ある程度」）という人が半数を超えている。しかし、全国（75%）と比べると少なく、沖縄と全国の意識の差が大きい質問の一つとなっている。

日米安保問題については、もう少し踏み込んで「今後のアメリカとの同盟関係の在り方」についても質問している。

沖縄では、『強化+維持』が46%、『減+解消』が44%とほぼ拮抗している（図12）。一方、全国では『強化+維持』が7割を占め、沖縄との意識の差が浮き彫りとなっている。

図12 日米同盟関係の今後の在り方（全体）



「侵略の危険性」と「同盟関係の在り方」の回答の関連性をみると、沖縄と全国の意識構造の違いの一端をうかがい知ることができる。

侵略の『危険がある』『危険がない』人別に、同盟関係『強化+維持』と答えた人の割合を

表2 「日米同盟関係の在り方」(「侵略の危険性」別)

		全 体	侵略の危険性	
			『危険あり』	『危険なし』
沖縄	合計	1,123人	913人	167人
	『強化+維持』	46%	49%	39%
	『減+解消』	44	44	53
	わからない、無回答	10	7	8
全国	合計	1,117人	891人	192人
	『強化+維持』	71%	73%	71%
	『減+解消』	20	21	21
	わからない、無回答	9	7	8

『危険あり』=「非常に危険がある」+「ある程度危険がある」  
 『危険なし』=「あまり危険はない」+「まったく危険はない」

表頭で「わからない、無回答」は実数が少ないため、表には掲載していない。

みてみると、沖縄では『危険あり』49%、『危険なし』39%と差があるが、全国では『危険あり』73%、『危険なし』71%とほとんど差はない(表2)。

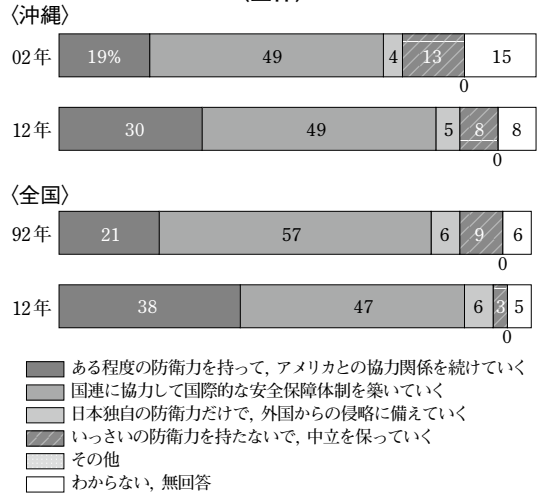
つまり、沖縄では「侵略の危険性」をどうみるかが日米同盟の在り方を考える上での一つの要素となっているが、全国ではそうならないということである。これは、沖縄の人たちと全国の人たちで日米同盟の在り方を考える際の判断材料が異なっていることを示している。そして沖縄の場合、その判断材料の大きな部分を占めるのが、多くの米軍基地を抱えることの「負担感」であろう。

沖縄の人の米軍基地に関する意識については、4章で詳しくみていきたい。

## (2) 増加しつつも全国より少ない「日米協力」

「日米関係」について、沖縄県民の意識の変化を時系列でみることでできる質問がある。図13は、「今後の日本の安全を守っていくうえで、一番よいと思われる方法」について、4つの選択肢を示して回答してもらった結果である。

図13 日本の安全を守るうえで良いと思われる方法(全体)



今回の沖縄では、「国連に協力」が49%、「アメリカとの協力関係継続」が30%などとなっている。そして、全国では「国連に協力」が47%、「アメリカとの協力関係継続」が38%などとなっている。沖縄・全国とも、「国連に協力」がおよそ半数を占めていることをまず押さえておきたい。その上で、今回の沖縄の「アメリカとの協力関係継続」に注目すると、前回10年前より増加している。増えているのは4つの選択肢の中でこれだけであり、その伸びも19→30%と大きい。しかし、全国(38%)よりは少なくなっている。

過去よりは増えているが、全国と比べると「差」が存在するというパターンは、「天皇は尊敬すべき存在」と「憲法改正必要あり」でもみられた。

こうした動きは、本土との一体化が進むことで、全国との意識差が徐々に縮まってきているとみることもできる。しかし一方で、復帰40年たってもこれだけの差が存在すること自体が、沖縄をめぐる様々な問題の奥深さを物語っているとも言えよう。



## 4. 沖縄の米軍基地について

### (1) 過半数となった

#### 日本の安全に『必要+やむをえない』

沖縄は、サンフランシスコ平和条約により、1952年、本土と切り離され米国による統治が始まった。また、本土復帰後も、日米安全保障条約により米国への基地の供与が義務づけられ、沖縄に米軍基地が存続し続けている。全国の米軍専用施設面積の約74%が集中し、県土総面積の約10%、特に沖縄本島ではその2割近くを米軍基地が占める<sup>9)</sup>。

「復帰後も、沖縄に、アメリカ軍基地が残っているが、どのように思うか」(図14)と尋ねたところ、復帰当初の72年は、日本の安全にとって「必要」7%、「やむをえない」19%で、両者を合わせ26%で、「必要でない」20%、「かえって危険」36%を合わせると56%となり、『必要+やむをえない』を『必要でない+かえって危

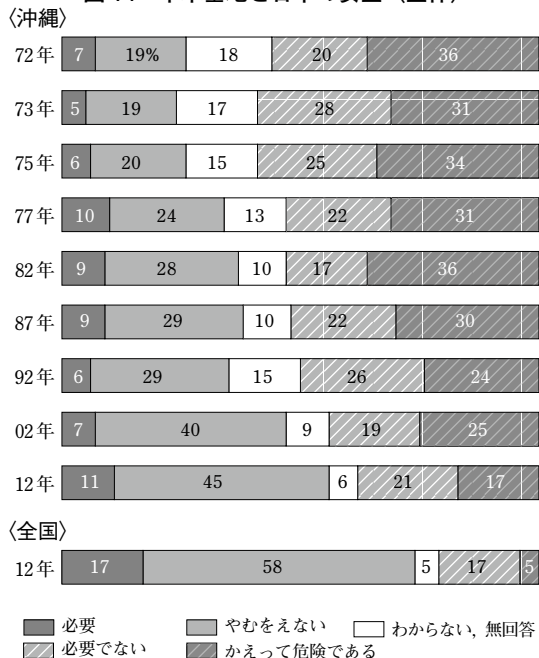
険』が大きく上回っていた。このような傾向は、復帰20年の92年までは、続いていた。

しかし、復帰30年の2002年にかけて『必要+やむをえない』が大きく増加し、半数近くとなり、『必要+やむをえない』と『必要でない+かえって危険』がほぼ拮抗した。『必要+やむをえない』で増加したのは「やむをえない」で、『必要でない+かえって危険』で減少したのは、主に「必要でない」というように、いずれも中間的な弱い意識が変化している。

そして、復帰40年の今回調査では「やむをえない」だけでなく、「必要」も増加し、両者を合わせた『必要+やむをえない』は56%となり、過半数となった。「かえって危険」が25%から17%へと減少し、『必要でない+かえって危険』は38%だった。米軍基地に対する意識はこの20年で大きく変化している。

なお、全国と比べると、「必要」、「やむをえない」とも、全国の方が多く、『必要+やむをえない』は74%と沖縄の56%を上回っている。

図14 米軍基地と日本の安全 (全体)

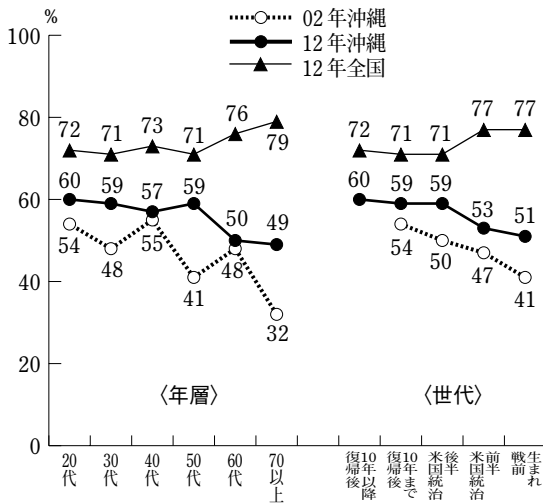


### 生まれ年で異なる意識

『必要+やむをえない』について、この10年の沖縄の変化(図15)をみると、年層別では変化が大きい層がある。しかし、生まれ年別で見ると比較的小さな変化となる。沖縄では世代(生まれ年)によって、米軍基地に対する意識が異なり、上の世代ほど『必要+やむをえない』が少ない。この10年の意識変化は、どの世代にもあることから、この間の時代状況に対応したものとみられる。

次に12年調査の沖縄と全国の違いをみると、沖縄では、『必要+やむをえない』が60代以上で少なくなっているのに対し、全国では逆に多くなっている。

図 15 米軍基地と日本の安全  
 (『必要+やむをえない』, 年層・世代別)



米軍基地が仕事に『役立っている』人で  
 『必要+やむをえない』の増加

沖縄の米軍基地の必要性は「米軍基地と仕事について」の考えと関連があるのだろうか。まず、米軍基地と仕事についての沖縄の考えをみる。「沖縄にアメリカ軍の基地があることは、あなたの暮らしや仕事に役立っているか」と尋ねたところ、『役立っていない』(「全然」+「どちらかといえば」)は69%で、『役立っている』(「大きく」+「どちらかといえば」)29%を大きく上回る。この傾向は、この35年変わらず、『役立っていない』と考える人が多数である。

次に、「米軍基地と仕事について」の考えが沖縄の米軍基地の必要性とどのような関連があるかをみておこう(表3)。『役立っていない』という人では、『必要でない+かえって危険』は10年前とはほとんど変わらないが、『必要+やむをえない』が増え、『必要+やむをえない』と『必要でない+かえって危険』は拮抗している。しかし、『役立っている』という人では、『必要でない+かえって危険』が減り、『必要+やむをえない』

表 3 米軍基地と日本の安全 (米軍基地と仕事別  
 <沖縄>)

	全体	米軍基地と仕事 まとめ	
		『役立っている』	『役立っていない』
02年	合計	587人	383人
	『必要+やむをえない』	47%	41%
	『必要でない+かえって危険』	44	50
	わからない	9	9
12年	合計	1,123人	771人
	『必要+やむをえない』	56%	47%
	『必要でない+かえって危険』	38	48
	わからない	6	5

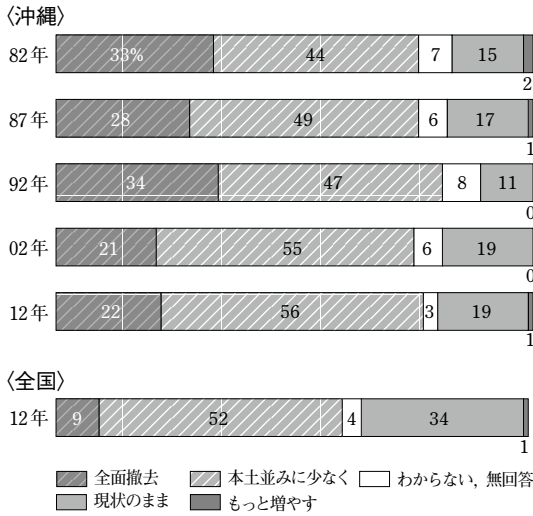
層別にみて最も多い回答(互いに従属な%の差の検定 信頼度95%)  
 表頭で「わからない、無回答」は実数が少ないため、表には掲載していない。

い』が大きく増加している。今回の『必要+やむをえない』の増加の背景には、『役立っている』という人で基地を「必要」あるいは「やむをえない」という考えの人がさらに増えたことがあげられる。

(2) 『削減』を8割近くの人が一貫して主張

それでは、基地についての考え方も変化しているのであろうか。沖縄のアメリカ軍基地についての気持ちを尋ねたところ(図16)、92年までは、「全面撤去」が3割前後となっていたが、02年にかけて大きく減っている。02年では、「本土並みに少なく」が増え過半数となり、「現状のままでよい」も増加し、「全面撤去すべきだ」と「現状のままでよい」とが拮抗している。この割合は、12年もほとんど変わっていない。「全面撤去」と「本土並みに少なく」を合わせた『削減』すべきという人は、8割近くで、この30年ほとんど変わらない。沖縄の人は一貫して米軍基地が減るべきだと考えている。全国とくらべると、「全面撤去」が多く、「現状のまま」が少ない。

図 16 米軍基地観（全体）

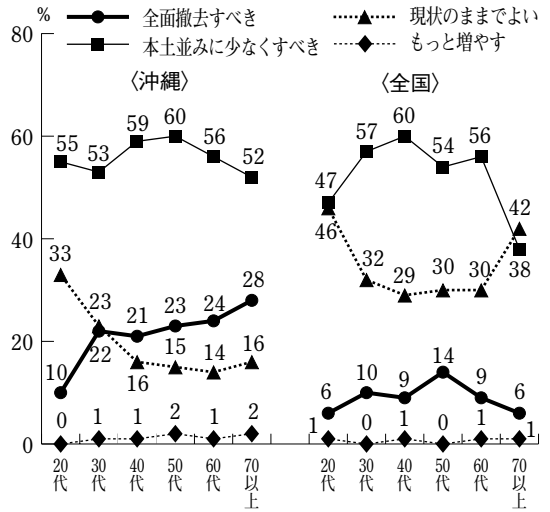


基地に対する考え方は沖縄戦の体験や居住経験とも関連がみられ、沖縄戦の体験を持っている人は、「全面撤去」が全体より多く「本土並みに少なく」が少ない。他県に居住経験のある沖縄の人は、「全面撤去」がやや多く、「現状のまま」という人は、少ない。

年層別に沖縄と全国についてみる（図17）と、沖縄では、「本土並みに少なく」がどの年層でも最も多く、5割を超えている。年層が高くなるほど、「現状のままでよい」が減少し、「全面撤去」が増加しており、40代以上で「全面撤去」が「現状のままでよい」を上回っている。一方、全国では、20代、70歳以上では、「現状のままでよい」と「本土並みに少なく」が同程度になっているが、30代から60代では、「本土並みに少なく」が最も多く6割近くとなっている。「現状のまま」はどの年層でも「全面撤去」を大きく上回っている。

このように、年層別には、沖縄は全国と異なるが、20代の若い世代で「現状のままでよい」が多く、全国と同様の傾向もみられる。

図 17 米軍基地観（年層別）



「進んでいない」が多数となった

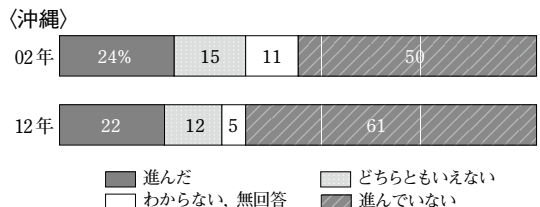
#### 米軍基地の整理縮小

沖縄の米軍専用施設の面積は、40年の歳月を経て、復帰時から18%減少した<sup>10)</sup>が、人びとはどう認識しているのだろうか。

「沖縄のアメリカ軍基地の整理・縮小は進んだと思うか」について（図18）は、「進んだ」という人は22%と少ないが、「進んでいない」という人は、61%と10年前より増えている。

沖縄県の米軍基地の整理縮小が進展しない理由について、02年と12年をくらべると、「他に移転が難しい」が大幅に増加している。問題になっている普天間基地は、県内の辺野古への移設が実現しても、県内の基地が減るわけではない。なかなか県外に移設できない基

図 18 米軍基地の整理縮小（全体）



地問題の現状が「進んでいない」の増加につながったのであろう。

### 沖縄に基地集中「おかしい」が過半数

「在日アメリカ軍の専用施設の74%が沖縄に集中している」ことについて尋ねたところ(図19)、沖縄では、「おかしいと思う」人は57%で、『おかしい』(「どちらかといえば」も含めて)という人は86%とほとんどを占める。一方、全国では『おかしい』は68%と多数であるが、「おかしいと思う」は25%で沖縄の57%とくらべ少なく、沖縄の人たちと受け止め方が異なっている。

年層別には(図20)、全国では大きな違いはないが、沖縄では年層が高くなるほど「おか

図19 沖縄に基地が集中していることについて(全体)

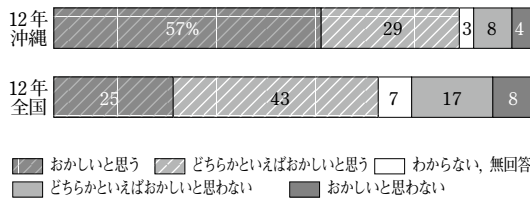
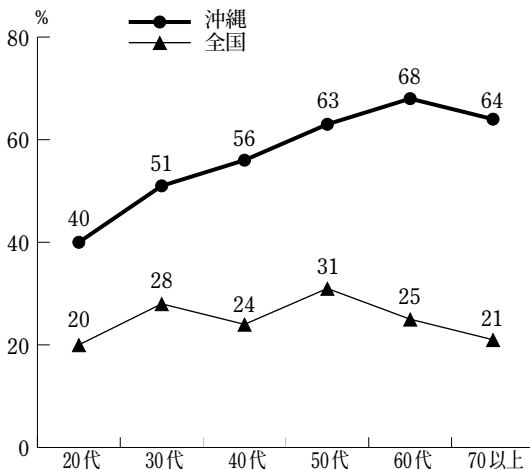


図20 沖縄に基地が集中していることについて(「おかしいと思う」年層別)

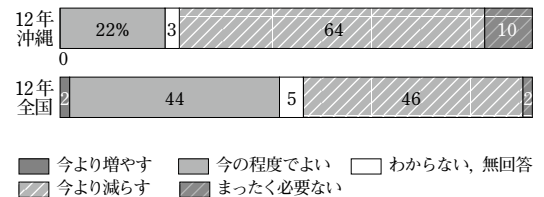


しいと思う」と疑問を抱く人が多くなっている。

### (3) 在日米軍の在り方でも全国と意識差

沖縄だけでなく、日本に駐留しているアメリカ軍について、「今後どのようにすべきか」について尋ねた(図21)。「今より減らす」が64%と多数で、「今の程度でよい」22%、「まったく必要ない」10%となる。全国では、「今より減らす」が46%で、「今の程度でよい」44%と拮抗している。

図21 今後の在日米軍の在り方(全体)



ここで、在日米軍の在り方について、「沖縄の米軍基地観」との関連でみておきたい(表4)。在日米軍を「今より減らす」あるいは「まったく必要ない」という人では、沖縄の米軍基地について「全面撤去」あるいは「本土並みに少なく」という人が沖縄で90%、全国でも84%となり、米軍基地に対する考えはほぼ一貫している。

在日米軍について「増やす」あるいは「今の程度でよい」という人では、沖縄の米軍基地について「現状のままでよい」あるいは「もっと増やす」という人が、沖縄で55%、全国で58%と両方とも過半数となっている。一方、「全面撤去」あるいは「本土並みに少なく」という人は、沖縄で44%、全国で39%となる。沖縄の負担と在日米軍の在り方と結びつける考え方の人が多いが、全国でも、在日米軍を維持するという考え方をする人の中に、沖縄の米軍基地は削減すべきと考える人がいることは、注目される。

表4 沖縄の米軍基地観  
(今後の在日米軍の在り方別)

		全体	今後の在日米軍の在り方	
			『増+維持』	『減+必要ない』
沖縄	合計	1,123人	252人	834人
	全面撤去すべきだ	22%	6%	27%
	本土並みに少なくすべきだ	56	38	63
	現状のままでよい	19	54	8
	もっと増やすべきだ	1	1	0
わからない、無回答	3	1	1	

		全体	沖縄	全国
全面撤去すべきだ	9%	3%	15%	
本土並みに少なくすべきだ	52	37	69	
現状のままでよい	34	56	14	
もっと増やすべきだ	1	2	1	
わからない、無回答	4	2	2	

『増+維持』 = 「今より増やす」 + 「今の程度でよい」  
 『減+必要ない』 = 「今より減らす」 + 「まったく必要ない」  
 〇 層別に見て最も多い回答 (互いに従属な%の差の検定 信頼度95%)  
 表頭で、「わからない、無回答」は実数が少ないため、掲載していない。

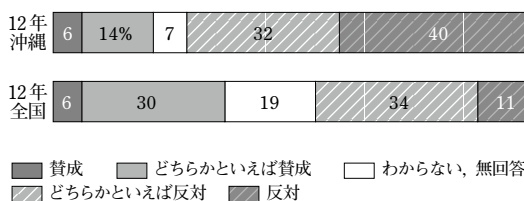
#### (4) 「普天間基地の名護市移設」

##### 『反対』が多数

95年に起きた米兵による少女暴行事件をきっかけとして、96年に普天間基地の返還が県内移設を条件に日米で合意された。そして、09年に移設先として「最低でも県外」と鳩山党首が述べた民主党政権が誕生したが、翌年には移設先を名護市に戻すことになる。しかし、その後の知事選挙で、方針を変えて「県外移設」を求めていくと訴えた仲井真知事が再選されることになり、普天間基地移設問題は政府と沖縄県で意見が分かれ、具体的なめどが立っていない。

アメリカ軍普天間基地の返還にあたって、代わりの施設を名護市に移設することについて(図22), 『賛成』(「どちらかといえば」も含む)は21%に対し、『反対』(同)は72%と多数を占める。一方、全国では、『賛成』36%、『反対』

図22 普天間基地の名護市移設の賛否(全体)



45%となり、普天間基地移設に対する沖縄と全国の意識には違いがある。

さらに、沖縄の米軍基地をどうすべきかの回答別に名護市移設への賛否をみると(表5), 沖縄では、「現状のまま」の人では意見が拮抗している。また、他の回答の人では『賛成』が少なく、『反対』が多くなっている。全国では、「現状のまま」の人では『賛成』が多く、「全面撤去」「本土並みに少なく」の人では『反対』が多い。また、沖縄、全国とも、米軍基地に対する考えが「現状のまま」から「本土並み」、「全面撤去」へと変わるほど、『反対』が増え、さらに、沖縄は全国にくらべ、『反対』が多くなる。

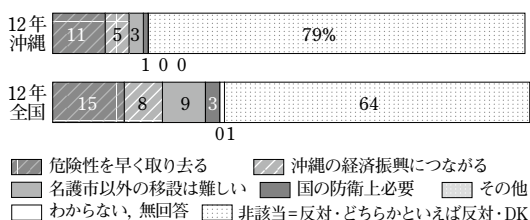
表5 普天間基地の名護市移設の賛否  
(米軍基地観別)

		全体	沖縄の米軍基地観		
			現状のまま	本土並みに少なく	全面撤去
沖縄	合計	1,123人	212人	630人	244人
	『賛成』	21%	42%	18%	9%
	『反対』	72	48	76	89
	わからない、無回答	7	10	6	3
全国	合計	1,117人	380人	582人	101人
	『賛成』	36%	51%	33%	9%
	『反対』	45	28	52	80
	わからない、無回答	19	21	15	11

『賛成』 = 「賛成」 + 「どちらかといえば賛成」  
 『反対』 = 「反対」 + 「どちらかといえば反対」  
 〇 層別に見て最も多い回答 (互いに従属な%の差の検定 信頼度95%)  
 米軍基地観の「もっと増やす」「わからない、無回答」は実数が少ないため表には掲載していない。

図23は、移設に『賛成』の人にその理由を尋ね、質問に該当しなかった人も含め、全体を分母にしてみたものである。沖縄では、「危険性を取り去る」が賛成理由として最も多く、11%となった。全国では、『賛成』が沖縄より多いが、『賛成』の理由としては、「危険性を取り去る」、「沖縄の経済振興につながる」に加え、「名護市以外への移設は難しい」という消極的理由が9%（沖縄3%）と多くなっている。

図23 普天間基地移設の賛成理由（全体）

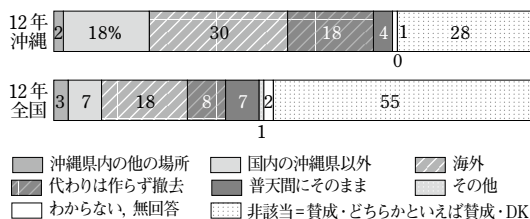


### 普天間基地の移設先は『県外』が多数

次に、移設に『反対』の人に、普天間基地の移設について今後どうすべきか尋ね、その質問に該当しなかった人も含め、全体を分母にしてみたところ(図24)、沖縄では、「海外」30%、「国内の沖縄県以外」18%、「代わりの施設は作らず撤去」18%の順となっている。撤去も含めた『県外』の人は66%と、多数を占める。全国では『県外』は33%と少なく、沖縄県民の意識と対照的である。

沖縄について、男女年層別にみると、男女と

図24 普天間基地の移設先（全体）



も「海外」が最も多いが、次いで、男性では、「国内の沖縄県以外」、女性では「代わりは作らず撤去」となっている。年層別では、20代で「撤去」が最も多く、「普天間にそのまま」が14%と他にくらべ多い。

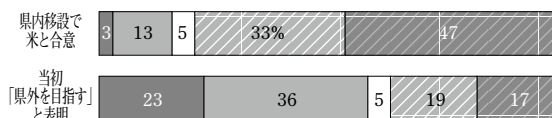
### 移設「県外を目指す」には多数が政権評価

民主党政権の普天間基地の移設についての評価を個別に尋ねたところ(図25)、沖縄では、「県内移設」でアメリカと合意したことについては、『評価する』（「高く」+「ある程度」）15%に対し、『評価しない』（「あまり」+「まったく」）80%が多数となっている。一方、当初「県外を目指す」という姿勢を示したことについては、『評価する』59%、『評価しない』36%となり、評価する人の方が多い。

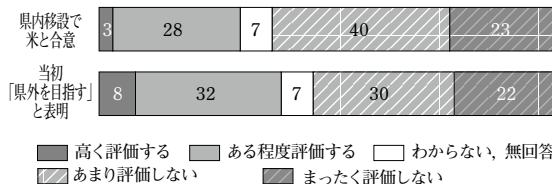
全国では、アメリカと合意したことについては、沖縄より評価する人が多いものの、『評価しない』人の方が上回っている。「県外を目指す」と表明したことについては、沖縄に比べ『評価する』人が少なく、沖縄とは逆に『評価しない』人の方が多い。このように、普天間移設についての民主党政権への評価も沖縄と全国では違いがある。

図25 普天間基地移設に対する政権評価（全体）

#### (12年 沖縄)



#### (12年 全国)



## (5) 全国と異なる

### 支持政党別米軍基地意識

これまでみてきた沖縄の米軍基地について支持政党（自民党支持、民主党支持、支持なし）別に意識をみておこう（表6）。「米軍基地と日本の安全」については、沖縄、全国ともどの支持層でみても「やむをえない」が最も多い。

しかし、米軍基地観については、全国では自民党支持層で「現状のままでよい」が最も多いが、沖縄では支持政党を問わず「本土並みに少なく」が過半数で、『削減』が7～8割と多数となっている。「普天間基地の名護市移設の賛否」についても、全国では自民党支持層で『賛成』が多く、民主党支持層では『賛成』『反対』が拮抗しているが、沖縄では、どの層でも『反対』が多数となっている。このように、全国とは異なり沖縄では、米軍基地観、

「普天間基地の名護市移設の賛否」について、どの支持層でみても否定的意見が多数となり、支持政党をこえて基地問題への思いが共通している。

## 5. まとめ

### (1) 全国と違いが大きい

#### 米軍基地問題と安全保障意識

今回の調査では、沖縄調査の59問中43問が全国調査と共通の質問となっている。その43問すべての回答ごとに沖縄と全国の差を計算し、5%以上の差がある回答の質問を数えた。質問ごとにその領域で分類したのが表7である。差が大きい質問が多いのは、米軍基地問題、安全保障意識である。沖縄と全国の回答差が大きかった質問を挙げると、「天

表6 沖縄の米軍基地について（支持政党別）

	沖縄				全国			
	全体	支持政党			全体	支持政党		
		民主党	自民党	支持なし		民主党	自民党	支持なし
	1,123人	104人	145人	669人	1,117人	131人	199人	687人
米軍基地と日本の安全								
日本の安全にとって必要である	11%	13%	16%	10%	17%	21%	25%	14%
日本の安全のためにやむをえない	45	50	58	43	58	57	61	57
日本の安全に必要でない	21	17	15	22	17	17	8	19
日本の安全にとってかえって危険である	17	14	8	19	5	2	3	5
わからない、無回答	6	5	3	6	5	2	3	5
米軍基地観								
全面撤去すべきだ	22	16	12	21	9	10	4	10
本土並みに少なくすべきだ	56	56	58	59	52	47	42	56
現状のままでよい	19	25	27	18	34	40	51	29
もっと増やすべきだ	1	0	1	1	1	2	0	1
わからない、無回答	3	3	2	2	4	1	4	4
普天間基地の名護市移設の賛否 まとめ								
賛成（「どちらかといえば」も含む）	21	24	34	19	36	44	54	30
反対（「どちらかといえば」も含む）	72	69	61	75	45	45	32	49
わからない、無回答	7	7	5	6	19	11	14	21

□]層別にみて最も多い回答（互いに従属な%の差の検定 信頼度 95%）  
表頭で、「民主党」、「自民党」以外の政党、および「わからない、無回答」は実数が少ないため、掲載していない。

表7 沖縄と全国、差が大きい質問数

内容	質問数	差が大きい質問数*
基本意識	5	3
沖縄関連経済支援	2	1
天皇・憲法意識	8	4
安全保障意識	10	6
自衛隊	3	1
米軍基地問題	12	11
相互理解と期待	3	3
合計	43	29

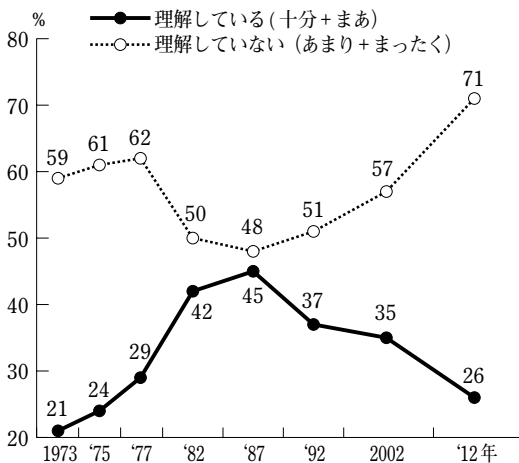
\*全国と沖縄で回答が5%以上差がある質問の数

皇は尊敬すべき存在か」「日米安保条約は日本の平和と安全に役立っているか」「今後の日米同盟関係の在り方」「今後の在日米軍の在り方」「普天間基地の名護市移設の賛否について」の質問である。そして沖縄の方がいずれも否定的な意見が多い。

## (2) 本土の人は沖縄の人を理解していない

「本土の人は、沖縄の人の気持ちを理解していると思うか」については(図26)、沖縄では『理解している』(「十分」+「まあ」)は26%で、

図26 本土の人は沖縄の人を理解しているか(全体) <沖縄>



『理解していない』(「あまり」+「まったく」)は71%と多数となっている。『理解している』人は87年にかけて増加してきたが、その後減少している。12年は02年とくらべ、『理解していない』が大きく増加した。「本土の人は沖縄の人を理解していない」という思いは、かつてなく、沖縄県民に広く浸透している。

## (3) 「日本の安全のためにやむをえない」という意識

沖縄においても、沖縄の米軍基地について、「日本の安全のためにやむをえない」と考える人が最も多いが、安全保障や米軍基地について、どのような考え方に関わるのか、みておきたい(表8)。

米軍基地が日本の安全にとって「やむをえない」という人のそれぞれ最も多い回答をみると、まず、日米安保については、『役立っている』という人が66%と、肯定的な人が多数となっている。

つぎに、米軍基地観については、「やむをえない」という人では、「本土並みに少なく」が68%で、さらに厳しい意見の「全面撤去」を合わせた批判的な人は75%と多い。沖縄に基地が集中していることについては、「おかしい」が46%、米軍基地と仕事については、『役立っていない』63%となっている。いずれも、米軍基地が「必要でない」「かえて危険」という人ほど多くはない。

本土の人は沖縄の人を理解しているかについては、「やむをえない」という人では、『理解していない』が71%となり、「必要でない」「かえて危険」という人と変わらない。

このように、「やむをえない」という人は、日米安全保障条約については、肯定的な人が多いが、米軍基地についての考えが批判的な



表8 「安全保障意識」・米軍基地について  
 (「米軍基地と日本の安全」別) <沖縄>

	全体	米軍基地と日本の安全			
		必要である	やむをえない	必要でない	かえって危険である
合計	1,123人	125人	504人	238人	192人
日米安保・平和に役立っているか まとめ					
『役立っている』	53%	76%	66%	35%	34%
『役立っていない』	37	18	29	58	54
わからない、無回答	9	6	5	7	11
米軍基地観					
全面撤去	22	7	7	39	52
本土並みに少なく	56	32	68	54	43
現状のまま	19	56	22	6	3
もっと増やす	1	2	0	0	1
わからない、無回答	3	2	2	1	1
沖縄に基地が集中していることについて					
おかしいと思う	57	37	46	78	76
どちらかといえばおかしいと思う	29	28	38	16	20
どちらかといえばおかしいと思わない	8	18	10	3	3
おかしいと思わない	4	16	3	2	1
わからない、無回答	3	2	2	2	1
米軍基地と仕事 まとめ					
『役立っている』	29	61	36	14	12
『役立っていない』	69	37	63	85	86
わからない、無回答	2	2	1	1	2
沖縄の人を理解しているか まとめ					
『理解している』	26	36	27	24	20
『理解していない』	71	61	71	74	79
わからない、無回答	4	3	3	2	1

■層別にみて最も多い回答(互いに従属な%の差の検定 信頼度95%)  
 表頭で「わからない、無回答」は実数が少ないため、表には掲載していない。

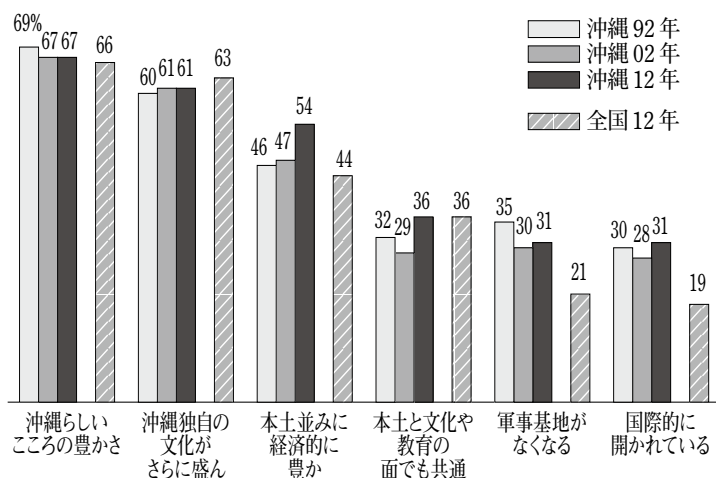
人が多く、本土の人は沖縄の人の気持ちを『理解していない』という人が多数である。基地問題が、日本全体の問題として共有されないことにいらだちを抱いているように思われる。

#### (4) 沖縄への期待

「これからの沖縄は、どうなつてほしいと思うか」3つまで挙げてもらったところ(図27)、上位に挙がる項目については、92年、02年、12年とも、「沖縄らしいところの豊かさ」「沖縄独自の文化がさらに盛ん」「本土並みに経済的に豊か」となっている。92年、02年とくらべ、「本土並みに経済的に豊か」「本土と文化や教育の面でも共通」が増えている。「沖縄らしさ」は大切にしつつ、「本土並み」という項目が共通して増加しているのが、注目される。

これを年層別にみると、沖縄の20代では「本土並みに経済的に豊か」が多い一方、「軍事基地がなくなる」が少ない。硬直状態の基地問題の中で育った20代にとっては、いつの話かわからない「軍事基地がなくなる」ことよりも、当面の問題として、経済的な面を前進させたいとい

図27 沖縄への期待(3つまで・全体)



う思いがあるのであろう。さらに、沖縄の誇りとして、20代・30代の若い世代では「出身地を大切にしていること」を挙げる人が10年前より増加し多い。沖縄出身自体を誇りとする若者の増加が注目される。

## おわりに

復帰から40年の歳月を経て、米軍専用施設面積は本土では59%が削減されたが、沖縄では18%の削減にとどまり、米軍専用施設で沖縄が占める割合は、59%から74%へと上昇した<sup>11)</sup>。このような沖縄をとりまく状況、とりわけ米軍基地を日常に抱える沖縄とあまり意識することのない本土との違いが、沖縄と全国にみる調査結果の差となって表れているようである。

また、沖縄戦の体験がある人は、急速に減ってきている。しかし、沖縄の人はそのことを風化させないよう、「忘れてはならないこととしてたえず振り返るようにしたい」という人が反対に増え、9割に達している。さらに、戦争体験を持っている人では、「進んで話したい」という人が10年前より増え、5割近くとなっている。そして、沖縄の米軍基地『削減』は、ずっとぶれることのない、沖縄の人の一致した思いである。

日米安全保障条約の日本の平和と安全への有用性については、全国の人の方が評価する人が多い。日本に米軍基地があるのは、この条約のためである。これまで沖縄に重い負担を強いてきた米軍基地を沖縄だけでなく、日本全体の問題として、一人ひとりがとらえ直していく必要があることをこの調査結果は改めて示唆しているといえよう。

(こののけい/こばやしとしゆき)

注：

1)

調査時期	これまでの沖縄調査		
	1970年11月	1972年5月	1973年4月
相手数	1,200	1,000	1,000
有効数	768	657	677
有効率	64.0%	65.7%	67.7%
調査時期	1975年4月	1977年3月	1982年2月
相手数	900	750	900
有効数	552	537	650
有効率	61.3%	71.6%	72.2%
調査時期	1987年2月	1992年3月	2002年3月
相手数	900	900	900
有効数	618	706	587
有効率	68.7%	78.4%	65.2%

※ いずれも、調査方法は個人面接法、調査相手は20歳以上の沖縄県民。

※ 1976年の知事選時に面接調査を行い、「経済発展の方向」について尋ねている。

2) 全国調査にも時系列比較が可能な質問があり、本稿では必要に応じて使っている。

調査名称	これまでの全国調査		
	日本人と憲法	日本人と憲法	安全保障
調査時期	1992年3月	2002年3月	2003年12月
調査対象	16歳以上	16歳以上	20歳以上
相手数	3,600	3,600	1,800
有効数	2,522	2,336	1,094
有効率	70.1%	64.9%	60.8%

※ いずれも、調査方法は個人面接法。92年と02年の調査は、20歳以上で再集計したうえで、今回の結果と比較している。

- 3) 謝名元慶福「本土復帰15年の沖縄」『放送研究と調査』1987年6月号
- 4) 本稿では、「苦しくなった」と「少し苦しくなった」を合わせるなど、2つの選択肢をまとめる場合は、はじめに『苦しくなった』（「少し苦しくなった」含む）などと表示し、その後は省略して『苦しくなった』と書いている。
- 5) 詳細は、謝名元慶福「本土復帰20年の沖縄」『放送研究と調査』1992年6月号を参照のこと
- 6) NHK放送文化研究所編『現代日本人の意識構造[第七版]』（日本放送出版協会、2010年）
- 7) NHK放送文化研究所編『現代の県民気質』（日本放送出版協会、1997年）
- 8) 松井一彦「沖縄振興の課題と今後の振興策の在り方」『立法と調査』2012年1月・324号
- 9) 沖縄県知事公室基地対策課「沖縄の米軍及び自衛隊基地（統計資料集）」平成24年3月p1, 2
- 10) 注9と同じ
- 11) 沖縄防衛局によると、本土復帰時の本土の米軍専用施設面積は196,297千㎡。これと、注9の資料より計算

## 【調査の概要】

1 調査目的	復帰 40 年を迎える沖縄県民の生活や米軍基地に対する意識などを調査し、既調査や同時期に行う全国調査と比較して、県民の意識を多角的にとらえる。
2 調査時期	2012 年 2 月 18 日(土)～3 月 4 日(日)
3 調査方法	個人面接法
4 調査対象	沖縄県の 20 歳以上の県民
5 調査相手	住民基本台帳から層化無作為 2 段抽出 1,800 人(12 人×150 地点)
6 調査有効数(率)	1,123 人(62.4%)

## —沖縄の誇り(LA)—

第 1 問 あなたは、沖縄のどんなところに特に誇りをもっていますか。リストの中から当てはまるものがあれば 3 つまであげてください。

1. 美しい自然	68.7 %
2. 豊かな芸能	31.0
3. 沖縄のことば	22.2
4. 海外と広く交流をしていた沖縄の歴史	13.8
5. 家族や親戚を大切にしていること	47.1
6. 出身地を大切にしていること	22.5
7. 沖縄の将来を真剣に考える人が多いこと	3.4
8. 平和を求める気持ちが強いこと	30.8
9. 働き者であること	4.5
10. 治安がよいこと	10.2
11. 物が豊富でなんでも手に入ること	2.3
12. 教育熱心なこと	1.6
13. 長寿の人が多くいること	27.8
14. 誇りに思うことはない	0.3
15. わからない、無回答	0.8

## —暮らし向き・1 年前との比較—

第 2 問 あなたの暮らし向きは、1 年前とくらべて、楽になったでしょうか。それとも苦しくなったでしょうか。リストの中から 1 つお答えください。

1. 楽になった	4.9 %
2. 少し楽になった	8.4
3. 変わらない	53.8
4. 少し苦しくなった	23.0
5. 苦しくなった	9.6
6. わからない、無回答	0.4

## —暮らし向き・今後—

第 3 問 あなたの暮らし向きは、今後どうなると思いますか。リストの中からあなたのお感じに近いものを 1 つお答えください。

1. 楽になるだろう	5.2 %
2. 少し楽になるだろう	14.2
3. 変わらないだろう	38.6
4. 少し苦しくなるだろう	28.0
5. 苦しくなるだろう	11.6
6. わからない、無回答	2.3

## —復帰評価—

第 4 問 沖縄が本土に復帰して、間もなく 40 年になります。この 40 年間でふりかえったとき、本土復帰についてあなたのお気持ちに近いものをリストの中から 1 つお答えください。

1. 非常によかった	22.9 %
2. まあよかった	55.3
3. あまりよくなかった	11.4
4. 非常に不満である	3.3
5. わからない、無回答	7.1

## —復帰 40 年の感想(MA)—

第 5 問 復帰 40 年を振り返って、リストのような感想がありません。この中からあなたのお感じになることをいくつでもあげてください。

1. 生活に落ち着きがなくなった	12.6 %
2. 海が汚れ、緑が失われるなど自然が損なわれた	53.8
3. 日本人としての自覚が強まった	19.2
4. 生活が豊かになった	25.6
5. 教育水準が高くなった	32.3
6. 「復帰前の沖縄のほうがよかった」と感じることもある	11.0
7. 人間関係に温かみが失われてきた	33.0
8. 貧富の差が縮まった	14.6
9. その他	0.5
10. わからない、無回答	8.7

## —国や県への要望(LA)—

第 6 問 あなたは、国や県に対して、どんなことに力をいれてほしいと思いますか。リストの中から主なものを 3 つまでお答えください。

1. 農業対策	19.9 %
2. 工業振興策	7.0
3. 観光対策	21.5
4. 教育対策	36.3
5. 医療制度・施設の充実	54.9
6. 公害防止・自然保護	18.1
7. 道路・交通の整備	11.7
8. 物価対策	16.9
9. 失業対策	52.0
10. 治安の維持	9.0
11. アメリカ軍基地の撤去	24.4
12. 基地の跡地利用対策	11.9
13. その他	0.4
14. わからない、無回答	1.0

## —開発か自然保護か—

第 7 問 話は変わりますが、あなたは、開発を優先すべきだと思いますか、自然保護を優先すべきだと思いますか。あなたのお気持ちに近いものをリストの中から 1 つお答えください。

1. 開発を優先すべきだ	5.9 %
2. どちらかといえば、開発を優先すべきだ	12.6
3. どちらかといえば、自然保護を優先すべきだ	46.7
4. 自然保護を優先すべきだ	31.9
5. わからない、無回答	2.8

## —沖縄の開発は調和がとれているか—

第 8 問 ところで、今沖縄で進められている開発は、自然保護との調和がとれていると思いますか。それとも、とれていない

と思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 調和がとれている ..... 5.3 %
- 2. 調和がとれていない ..... 51.3
- 3. どちらともいえない ..... 39.6
- 4. わからない、無回答 ..... 3.7

一経済発展の方向一

第9問 今後、沖縄が経済的に、発展していくには、どのような方向をとるのが一番よいと思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 農業や畜産を盛んにする ..... 12.8 %
- 2. 企業を誘致し、工業を盛んにする ..... 26.3
- 3. 観光に力を入れる ..... 38.1
- 4. 農産物・水産物の加工に力を入れる ..... 19.5
- 5. その他 ..... 0.4
- 6. わからない、無回答 ..... 2.8

一失業の主な原因一

第10問 沖縄県の失業問題についてうかがいます。沖縄県で失業者が多い主な原因はどこにあると思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 県内に働き口が少ないから ..... 41.7 %
- 2. 国や県の雇用対策が十分でないから ..... 15.4
- 3. 県外で働きたがらない人が多いから ..... 8.3
- 4. 就職に有利な技術・技能を  
持っている人が少ないから ..... 7.9
- 5. 待遇や仕事の内容など、希望に合った  
働き口が見つからないから ..... 17.6
- 6. 仕事を探さなくても一応の生活ができるから ..... 6.9
- 7. その他 ..... 0.4
- 8. わからない、無回答 ..... 1.8

一沖縄の振興策評価一

第11問 国は、復帰してから40年間にわたって沖縄の振興策を実施してきました。あなたは、こうした振興策が、沖縄の発展にどの程度役立ったと思いますか。

- 1. 非常に役立った ..... 7.7 %
- 2. ある程度役立った ..... 61.4
- 3. あまり役立たなかった ..... 21.3
- 4. まったく役立たなかった ..... 1.5
- 5. わからない、無回答 ..... 8.1

一復帰特別施策への考え方一

第12問 他の都道府県よりも高い補助金が受けられる高率補助など、現在行われているような沖縄の復帰に伴う国の特別な施策について、あなたはどのように思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. もうやめるべきだ ..... 7.4 %
- 2. 今のまま続けるべきだ ..... 60.3
- 3. さらに強化すべきだ ..... 24.3
- 4. わからない、無回答 ..... 8.0

一米軍基地と日本の安全一

第13問 復帰後も、沖縄に、アメリカ軍基地が残っていますが、あなたは、これについてどのように思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 日本の安全にとって必要である ..... 11.1 %
- 2. 日本の安全のためにやむをえない ..... 44.9

- 3. 日本の安全に必要でない ..... 21.2
- 4. 日本の安全にとってかえって危険である ..... 17.1
- 5. わからない、無回答 ..... 5.7

一自衛隊と日本の安全一

第14問 復帰後、自衛隊が沖縄に配備されていますが、あなたは、これについてどのように思いますか。同じリストの中から1つお答えください。

- 1. 日本の安全にとって必要である ..... 30.5 %
- 2. 日本の安全のためにやむをえない ..... 52.3
- 3. 日本の安全に必要でない ..... 8.8
- 4. 日本の安全にとってかえって危険である ..... 4.6
- 5. わからない、無回答 ..... 3.8

一与那国島への自衛隊配備と日本の安全一

第15問 中国の軍備増強に備えて、沖縄の一番西の与那国島にあらたに自衛隊を配備する動きがあります。あなたは、これについてどう思いますか。同じリストの中から1つお答えください。

- 1. 日本の安全にとって必要である ..... 23.9 %
- 2. 日本の安全のためにやむをえない ..... 36.4
- 3. 日本の安全に必要でない ..... 20.5
- 4. 日本の安全にとってかえって危険である ..... 11.9
- 5. わからない、無回答 ..... 7.3

一米軍基地と仕事一

第16問 沖縄にアメリカ軍の基地があることは、あなたの暮らしや仕事に役立っていると思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 大きく役立っている ..... 6.4 %
- 2. どちらかといえば、役立っている ..... 22.4
- 3. どちらかといえば、役立っていない ..... 34.1
- 4. 全然役立っていない ..... 34.6
- 5. わからない、無回答 ..... 2.5

一自衛隊基地と仕事一

第17問 では、沖縄に自衛隊の基地があることは、あなたの暮らしや仕事に役立っていると思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 大きく役立っている ..... 6.2 %
- 2. どちらかといえば、役立っている ..... 25.3
- 3. どちらかといえば、役立っていない ..... 33.2
- 4. 全然役立っていない ..... 31.8
- 5. わからない、無回答 ..... 3.5

一米軍基地観一

第18問 沖縄のアメリカ軍基地について、あなたのお気持ちに近いものをリストの中から1つお答えください。

- 1. 全面撤去すべきだ ..... 21.7 %
- 2. 本土並みに少なくすべきだ ..... 56.1
- 3. 現状のままでよい ..... 18.9
- 4. もっと増やすべきだ ..... 0.6
- 5. わからない、無回答 ..... 2.7

一米軍基地の整理縮小一

第19問 沖縄のアメリカ軍基地の整理・縮小は進んだと思いますか。進んでいないと思いますか。

- 1. 進んだ ..... 22.3 %
- 2. 進んでいない ..... 61.3

- 3. どちらもいえない ..... 11.6
- 4. わからない、無回答 ..... 4.9

**一 米軍基地の整理縮小が進展しない理由一**

第19問SQ [第19問で「2」の人に] 「進んでいない」のはどうしてだと思いますか。あなたのお考えに近いものをリストの中から1つお答えください。

- 1. 国がアメリカとの交渉を積極的に進めないため ..... 30.7 %
- 2. アメリカ軍が沖縄の基地を重視しているため ..... 18.8
- 3. 他に基地を移転することが難しいため ..... 32.4
- 4. 日米安全保障条約があるため ..... 10.0
- 5. 県民が望んでいないため ..... 6.4
- 6. その他 ..... 0.3
- 7. わからない、無回答 ..... 1.5

(分母= 688 人)

**一 普天間基地の名護市移設の賛否一**

第20問 アメリカ軍普天間基地の返還にあたって、代替りの施設を名護市に移設することについて、どう思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 賛成 ..... 6.3 %
- 2. どちらかといえば、賛成 ..... 14.2
- 3. どちらかといえば、反対 ..... 31.9
- 4. 反対 ..... 40.2
- 5. わからない、無回答 ..... 7.3

**一 名護市移設・賛成の理由一**

第20問SQ1 [第20問で「1」「2」の人に] あなたが、そうお考えになる主な理由をリストの中から1つお答えください。

- 1. 住宅が隣接する普天間基地の危険性を早く取り去ることが重要だから ..... 54.1 %
- 2. 移設を受け入れることが沖縄の経済振興につながるから ..... 25.1
- 3. 名護市以外への移設は難しいから ..... 13.4
- 4. 名護市に移設することが、国の防衛上必要だから ..... 4.3
- 5. その他 ..... 0.9
- 6. わからない、無回答 ..... 2.2

(分母= 231 人)

**一 名護市移設反対の人に、どこに移設すべきか一**

第20問SQ2 [第20問で「3」「4」の人に] それではあなたは、普天間基地の移設について今後どうすべきだと思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 沖縄県内の他の場所に移設すべきだ ..... 3.5 %
- 2. 国内の沖縄県以外の場所に移設すべきだ ..... 24.4
- 3. 海外に移設すべきだ ..... 41.5
- 4. 代替りの施設は作らずに撤去すべきだ ..... 24.6
- 5. 普天間にそのまま残しておくべきだ ..... 4.9
- 6. その他 ..... 0.2
- 7. わからない、無回答 ..... 0.9

(分母= 810 人)

**一 政権評価一**

第21問 民主党政権は、普天間基地の移設について、当初「県外を目指す」としていましたが、結局県内移設でアメリカと合意しました。このことについて2つに分けてうかがいます。

- A. まず、「県内移設」でアメリカと合意したことについてどう思いますか。リストの中から1つお答えください。
- B. では、当初「県外を目指す」という姿勢を示したことについてどう思いますか。リストの中から1つお答えください。

	1. 高く評価する	2. ある程度評価する	3. あまり評価しない	4. まったく評価しない	5. わからない、無回答
(%)					
A. 「県内移設」でアメリカと合意したこと	2.5	12.8	33.3	46.7	4.6
B. 当初「県外を目指す」という姿勢を示したこと	22.5	36.3	19.2	16.9	5.0

**一 沖縄に基地が集中していることについて一**

第22問 在日アメリカ軍の専用施設の74%が沖縄に集中しています。このことについてあなたはどう思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. おかしいと思う ..... 57.2 %
- 2. どちらかといえばおかしいと思う ..... 28.6
- 3. どちらかといえばおかしと思う ..... 7.7
- 4. おかしいと思わない ..... 3.8
- 5. わからない、無回答 ..... 2.8

**一 日米安保・平和に役立っているか一**

第23問 あなたは、日本がアメリカと結んでいる日米安全保障条約は、日本の平和と安全にどの程度役立っていると思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 非常に役立っている ..... 8.2 %
- 2. ある程度役立っている ..... 45.1
- 3. あまり役立っていない ..... 29.9
- 4. まったく役立っていない ..... 7.5
- 5. わからない、無回答 ..... 9.3

**一 今後の日米同盟関係の在り方一**

第24問 あなたは、日米安全保障条約に基づくアメリカとの同盟関係を、今後どうしていくべきだと思いますか。リストの中から1つお答えください

- 1. 同盟関係をより強化していくべきだ ..... 12.1 %
- 2. 現状のまま維持していくべきだ ..... 34.0
- 3. 協力の度合いを今より減らしていくべきだ ..... 35.4
- 4. 日米安保の解消を目指していくべきだ ..... 8.4
- 5. わからない、無回答 ..... 10.1

**一 同盟関係の強化・維持の理由一**

第24問SQ1 [第24問で「1」「2」の人に] あなたが、そうお考えになる主な理由をリストの中から1つお答えください。

- 1. 日本の安全に役立つから ..... 36.5 %
- 2. アジア太平洋地域全体の安定につながるから ..... 33.6
- 3. 日本の防衛費の抑制につながるから ..... 4.6
- 4. アメリカとの関係は、経済など防衛以外の分野でも重要だから ..... 23.4
- 5. その他 ..... 0.6
- 6. わからない、無回答 ..... 1.4

(分母= 518 人)

—同盟関係の弱体化・解消の理由—

- 第24問SQ2 [第24問で「3」「4」の人に] あなたが、そうお考えになる主な理由をリストの中から1つお答えください。
1. アメリカの軍事行動に巻き込まれる  
恐れがあるから …………… 24.2 %
  2. 他の国とももっと協調すべきだから …………… 14.4
  3. 在日アメリカ軍基地をめぐる  
日本の負担が大きいため …………… 47.8
  4. 自分の国は自分の力で守るべきだから …………… 12.2
  5. その他 …………… 0.0
  6. わからない、無回答 …………… 1.4
- (分母= 492人)

—今後の在日米軍の在り方—

- 第25問 あなたは、日本に駐留しているアメリカ軍について、今後どのようにすべきだと思いますか。リストの中から1つお答えください。
1. 今より増やす …………… 0.4 %
  2. 今の程度でよい …………… 22.1
  3. 今より減らす …………… 64.0
  4. まったく必要ない …………… 10.2
  5. わからない、無回答 …………… 3.3

—沖縄戦を忘れてはならないか—

- 第26問 次に、沖縄戦についてうかがいます。沖縄戦について、あなたのお考えはリストのどちらに近いでしょうか。
1. 忘れてはならないこととして、  
たえず振り返るようにしたい …………… 91.0 %
  2. 今の生活と関係ないので、なるべく  
忘れるようにしたい …………… 5.5
  3. わからない、無回答 …………… 3.5

—沖縄戦の体験—

- 第27問 あなたは、沖縄戦の体験を持っていますか。
1. 持っている …………… 13.2 %
  2. 持っていない …………… 86.5
  3. わからない、無回答 …………… 0.4

—体験者に、沖縄戦の継承—

- 第27問SQ [第27問で「1」の人に] あなたは沖縄戦について、これからの若い世代に語りつぎたいと思いますか。リストの中から1つお答えください。
1. 進んで話したい …………… 45.3 %
  2. たずねられたら話す …………… 44.6
  3. 思い出したくないので話さない …………… 7.4
  4. 沖縄戦に関心がない …………… 1.4
  5. わからない、無回答 …………… 1.4
- (分母= 148人)

—本土の人は沖縄の人を理解しているか—

- 第28問 ところで、現在、本土の人は、沖縄の人の気持ちを理解していると思いますか。リストの中から1つお答えください。
1. 十分理解している …………… 2.4 %
  2. まあ理解している …………… 23.6
  3. あまり理解していない …………… 57.2
  4. まったく理解していない …………… 13.4
  5. わからない、無回答 …………… 3.5

—沖縄の人は本土の人を理解しているか—

- 第29問 では、沖縄の人は、本土の人の気持ちを理解していると思いますか。同じリストの中から1つお答えください。
1. 十分理解している …………… 2.6 %
  2. まあ理解している …………… 33.1
  3. あまり理解していない …………… 52.5
  4. まったく理解していない …………… 6.6
  5. わからない、無回答 …………… 5.2

—これからの沖縄への期待（LA）—

- 第30問 あなたは、これからの沖縄は、どうなってほしいと思いますか。リストの中から3つまであげてください。
1. 沖縄独自の文化がさらに盛んになってほしい … 61.3 %
  2. 本土と文化や教育の面でも共通になってほしい … 36.0
  3. 沖縄らしいところの豊かさが生きてほしい … 66.5
  4. 本土並みに経済的に豊かになってほしい …… 53.8
  5. 軍事基地がなくなってほしい …………… 30.8
  6. 国際的に開かれてほしい …………… 30.7
  7. その他 …………… 0.4
  8. わからない、無回答 …………… 1.1

—転入者増の評価—

- 第31問 沖縄への移住者がこのところ増加しています。これについて、あなたはどのように思いますか。リストの中から1つお答えください。
1. 良いことだ …………… 31.3 %
  2. どちらかといえば良いことだ …………… 43.6
  3. どちらかといえば良いことではない …………… 17.5
  4. 良いことではない …………… 4.0
  5. わからない、無回答 …………… 3.6

—転入者増・評価する理由—

- 第31問SQ1 [第31問で「1」「2」の人に] あなたが、そうお考えになる主な理由をリストの中から1つお答えください。
1. 沖縄の経済活性化につながる …………… 43.8 %
  2. 本土の人に沖縄を理解してもらうにつながる … 46.3
  3. 沖縄の人が本土を理解することにつながる …… 8.1
  4. その他 …………… 0.6
  5. わからない、無回答 …………… 1.2
- (分母= 842人)

—転入者増・評価しない理由—

- 第31問SQ2 [第31問で「3」「4」の人に] あなたが、そうお考えになる主な理由をリストの中から1つお答えください。
1. 沖縄らしさがなくなることへつながる …………… 57.7 %
  2. 沖縄の人の雇用や経済的利益に悪影響を及ぼす … 33.2
  3. 物価が本土並みに上がる …………… 4.1
  4. その他 …………… 3.7
  5. わからない、無回答 …………… 1.2
- (分母= 241人)

—天皇観—

- 第32問 話は変わりますが、あなたは、「天皇は尊敬すべき存在だ」と思いますか。そうは思いませんか。
1. そう思う …………… 51.0 %
  2. そうは思わない …………… 19.1
  3. どちらともいえない …………… 24.3
  4. わからない、無回答 …………… 5.6

一憲法観一

第33問 あなたは、憲法について、どのようなお考えをお持ちですか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 今の憲法は、国民にとってほしい理想的なもので、その考え方はほぼ実現されている ... 13.6 %
2. 憲法の考え方そのものは、国民にとってほしい理想的なものだが、現実とはかなり開きがある ... 42.6
3. 今の憲法は、日本の実情からみて望ましいものではないが、現実には定着している ... 19.2
4. 今の憲法は、日本の実情からみて望ましいものではなく、また現実ともかけ離れている ... 8.6
5. その他 ... 0.2
6. わからない、無回答 ... 15.8

一憲法改正の是非一

第34問 あなたは、今の憲法を改正する必要があると思いますか。それとも、改正する必要はないと思いますか。

- 1. 改正する必要があると思う ... 49.9 %
2. 改正する必要はないと思う ... 19.8
3. どちらともいえない ... 15.0
4. わからない、無回答 ... 15.3

一憲法改正・賛成の理由一

第34問SQ1 [第34問で「1」の人に] それでは、あなたが改正する必要があるという理由は何ですか。あなたが最も重要だと思う理由を、リストの中から1つお答えください。

- 1. アメリカに押しつけられた憲法だから ... 16.3 %
2. 国際社会での役割を果たすために必要だから ... 10.7
3. 時代が変わって対応できない問題が出てきたから ... 72.7
4. その他 ... 0.2
5. わからない、無回答 ... 0.2 (分母=560人)

一憲法改正・反対の理由一

第34問SQ2 [第34問で「2」の人に] それでは、あなたが改正する必要がないという理由は何ですか。あなたが最も重要だと思う理由を、リストの中から1つお答えください。

- 1. 全体として、今の憲法がいい憲法だと思うから ... 15.3 %
2. 多少問題はあるが、改正するほどのことはないから ... 43.7
3. 戦争の放棄を定めた第9条を守りたいから ... 39.2
4. その他 ... 0.0
5. わからない、無回答 ... 1.8 (分母=222人)

一9条の評価一

第35問 憲法第9条は、戦争を放棄し、戦力を持たないことを決めています。あなたは、この第9条は、日本の平和と安全に、どの程度役立っているとお考えですか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 非常に役に立っている ... 24.4 %
2. ある程度役に立っている ... 49.0
3. あまり役に立っていない ... 15.9
4. まったく役に立っていない ... 2.9
5. わからない、無回答 ... 7.8

一9条改正の是非一

第36問 あなたは、いわゆる「戦争の放棄」を定めた第9条を改正する必要があると思いますか。それとも改正する必要はないと思いますか。

- 1. 改正する必要があると思う ... 23.7 %
2. 改正する必要はないと思う ... 54.6
3. どちらともいえない ... 12.0
4. わからない、無回答 ... 9.7

一9条改正・改正の内容一

第36問SQ [第36問で「1」の人に] では、あなたは、その第9条をどのように改正すべきだとお考えですか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 自衛力を持てることを明記して、国の防衛やPKO(国連平和維持活動)にあたる ... 45.5 %
2. 自衛力を持てることを明記するとともに、国連を中心とする軍事活動に参加できるようにする ... 18.4
3. 自衛力を持てることを明記するとともに、同盟国を助ける軍事活動にも参加できるようにする ... 22.2
4. 自衛隊を含めた軍事を放棄する ... 6.4
5. その他 ... 1.1
6. わからない、無回答 ... 6.4 (分母=266人)

一日本の安全を守る方策一

第37問 あなたは、これからの日本の安全を守っていくうえで、どのような方法が一番よいと思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. ある程度の防衛力を持って、アメリカとの協力関係を続けていく ... 30.4 %
2. 国連に協力して国際的な安全保障体制を築いていく ... 49.2
3. 日本独自の防衛力だけで、外国からの侵略に備えていく ... 4.5
4. いっさいの防衛力を持たないで、中立を保っていく ... 8.4
5. その他 ... 0.1
6. わからない、無回答 ... 7.5

一侵略を受ける危険性一

第38問 あなたは、現在の世界の情勢から考えて、日本が戦争や紛争に巻き込まれたり、他国から侵略を受けたりする危険性がどの程度あると思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 非常に危険がある ... 17.2 %
2. ある程度危険がある ... 64.1
3. あまり危険はない ... 13.5
4. まったく危険はない ... 1.3
5. わからない、無回答 ... 3.8

—安全保障面での脅威感—

第39問 リストのAからDについて、あなたは、安全保障の面でどの程度脅威を感じますか。AからDのそれぞれについて、リストの中から1つお答えください。

(%)	1. 大いに脅威を感じる	2. ある程度脅威を感じる	3. あまり脅威を感じない	4. まったく脅威を感じない	5. わからない、無回答
A. ロシアの極東における軍の活動活発化の傾向	12.7	40.0	33.3	5.6	8.4
B. 北朝鮮による核開発や弾道ミサイル実験などの挑発的な行動	55.1	33.1	7.0	1.5	3.2
C. 中国の軍事力増強や、海洋における活動の拡大・活発化	46.7	38.1	9.0	1.8	4.4
D. 韓国との間で竹島の領有権をめぐる問題があること	17.5	44.5	27.7	5.0	5.3

—支持政党—

第40問 あなたは、ふだん、どの政党を支持していますか。

- 1. 民主党 ……………9.3%
- 2. 自民党 ……………12.9
- 3. 公明党 ……………2.8
- 4. みんなの党 ……………1.3
- 5. 共産党 ……………1.8
- 6. 社民党 ……………3.4
- 7. たちあがれ日本 ……………0.3
- 8. 新党さつな ……………0.1
- 9. 国民新党 ……………0.4

- 10. 新党大地・真民主 ……………0.0
- 11. 新党改革 ……………0.1
- 12. 社会大衆党 ……………0.6
- 13. その他の政治団体 ……………0.1
- 14. 特に支持する政党はない ……………59.6
- 15. わからない、無回答 ……………7.4

—政治の満足感—

第41問 あなたは全体として、今の政治にどの程度満足していますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 満足している ……………0.9%
- 2. どちらかといえば、満足している ……………8.9
- 3. どちらかといえば、不満だ ……………51.4
- 4. 不満だ ……………33.7
- 5. わからない、無回答 ……………5.1

—職業—

第42問 (省略)

—居住歴—

第43問 リストのA、Bについて、それぞれ、「はい」か「いいえ」でお答えください。

(%)	1. はい	2. いいえ	3. わからない、無回答
A. 沖縄県以外に1年以上続けて住んだことがある	49.7	49.9	0.4
B. 15歳ごろまで、主に沖縄県で育った	89.6	10.0	0.4

【沖縄調査】

●サンプル構成比

全体	性		年代						
	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	
1,123人	510	613	141	221	210	223	153	175	
100.0%	45.4	54.6	12.6	19.7	18.7	19.9	13.6	15.6	

全体	男の年層						女の年層					
	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	20代	30代	40代	50代	60代	70以上
1,123人	52	93	112	108	73	72	89	128	98	115	80	103
100.0%	4.6	8.3	10.0	9.6	6.5	6.4	7.9	11.4	8.7	10.2	7.1	9.2

●不能理由

全体	有効	不能合計	不能理由										
			場所不明	転居	1年以上不在	10日以上不在	10日未満不在	深夜帰宅	外出	自宅療養	拒否	その他	死亡
1,800人	1,123	677	7	112	27	71	0	34	114	51	251	6	4
100.0%	62.4	37.6	0.4	6.2	1.5	3.9	0.0	1.9	6.3	2.8	13.9	0.3	0.2



【調査の概要】

- 1 調査目的 沖縄が復帰40年を迎えるのを機に、基地問題や日本の防衛政策について国民の意識を把握するとともに、同時期に行う沖縄県民を対象とした調査結果と比較して、国民と県民の意識の違いを検証する。
- 2 調査時期 2012年2月18日(土)～2月26日(日)
- 3 調査方法 個人面接法
- 4 調査対象 全国の20歳以上の国民
- 5 調査相手 住民基本台帳から層化無作為2段抽出  
1,800人(12人×150地点)
- 6 調査有効数(率) 1,117人(62.1%)

—ふだんの関心事項(MA)—

第1問 あなたがふだん関心を持っていることを、リストの中からいくつでもお答えください。

- 1. 国内の政治の動き …………… 51.3 %
- 2. 国内の経済の動き …………… 47.5
- 3. 年金や医療などの社会保障 …………… 78.5
- 4. 日本の安全保障の問題 …………… 29.8
- 5. 教育問題 …………… 41.2
- 6. 環境問題 …………… 48.8
- 7. 日本と外国の関係 …………… 32.9
- 8. 世界の平和 …………… 26.1
- 9. この中にはない …………… 2.1
- 10. わからない、無回答 …………… 0.5

—安全保障への関心度—

第2問 あなたは、日本の安全保障政策についてどの程度関心がありますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 非常に関心がある …………… 23.0 %
- 2. ある程度関心がある …………… 56.8
- 3. あまり関心はない …………… 16.7
- 4. まったく関心はない …………… 2.4
- 5. わからない、無回答 …………… 1.0

—日米安保・平和に役立っているか—

第3問 あなたは、日本がアメリカと結んでいる日米安全保障条約は、日本の平和と安全にどの程度役立っていると思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 非常に役立っている …………… 18.1 %
- 2. ある程度役立っている …………… 57.3
- 3. あまり役立っていない …………… 16.4
- 4. まったく役立っていない …………… 1.9
- 5. わからない、無回答 …………… 6.4

—今後の日米同盟関係の在り方—

第4問 あなたは、日米安全保障条約に基づくアメリカとの同盟関係を、今後どうしていくべきだと思いますか。リストの中から1つお答えください

- 1. 同盟関係をより強化していくべきだ …………… 21.6 %

- 2. 現状のまま維持していくべきだ …………… 49.4
- 3. 協力の度合いを今より減らしていくべきだ …… 17.7
- 4. 日米安保の解消を目指していくべきだ …………… 2.6
- 5. わからない、無回答 …………… 8.7

—同盟関係の強化・維持の理由—

第4問SQ1 [第4問で「1」「2」の人に] あなたが、そうお考えになる主な理由をリストの中から1つお答えください。

- 1. 日本の安全に役立つから …………… 42.4 %
- 2. アジア太平洋地域全体の安定につながるから … 27.7
- 3. 日本の防衛費の抑制につながるから …………… 6.3
- 4. アメリカとの関係は、経済など防衛以外の分野でも重要だから …………… 21.7
- 5. その他 …………… 0.3
- 6. わからない、無回答 …………… 1.6

(分母=793人)

—同盟関係の弱化・解消の理由—

第4問SQ2 [第4問で「3」「4」の人に] あなたが、そうお考えになる主な理由をリストの中から1つお答えください。

- 1. アメリカの軍事行動に巻き込まれる恐れがあるから …………… 11.0 %
- 2. 他の国とももっと協調すべきだから …………… 25.1
- 3. 在日アメリカ軍基地をめぐる日本の負担が大きいため …………… 49.8
- 4. 自分の国は自分の力で守るべきだから …………… 12.3
- 5. その他 …………… 0.0
- 6. わからない、無回答 …………… 1.8

(分母=227人)

—今後の在日米軍の在り方—

第5問 あなたは、日本に駐留しているアメリカ軍について、今後どのようにすべきだと思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 今より増やす …………… 2.2 %
- 2. 今の程度でよい …………… 44.4
- 3. 今より減らす …………… 45.7
- 4. まったく必要ない …………… 2.3
- 5. わからない、無回答 …………… 5.3

—在日米軍の印象—

第6問 あなたは、日本に駐留しているアメリカ軍に良い印象を持っていますか。それとも悪い印象を持っていますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 良い印象を持っている …………… 4.5 %
- 2. どちらかといえば、良い印象を持っている …… 42.9
- 3. どちらかといえば、悪い印象を持っている …… 37.2
- 4. 悪い印象を持っている …………… 3.8
- 5. わからない、無回答 …………… 11.6

—今後の自衛隊の在り方—

第7問 次に、自衛隊のことについてうかがいます。あなたは、自衛隊について、今後どのようにすべきだと思いますか。リス

トの中から1つお答えください。

1. 今より増やす …………… 24.4 %
2. 今の程度でよい …………… 66.6
3. 今より減らす …………… 6.2
4. まったく必要ない …………… 0.5
5. わからない、無回答 …………… 2.2

#### —自衛隊の印象—

第8問 あなたは、自衛隊に良い印象を持っていますか。それとも悪い印象を持っていますか。リストの中から1つお答えください。

1. 良い印象を持っている …………… 43.8 %
2. どちらかといえば、良い印象を持っている …… 48.2
3. どちらかといえば、悪い印象を持っている …… 4.6
4. 悪い印象を持っている …………… 0.4
5. わからない、無回答 …………… 3.0

#### —自衛隊が今後力をいれるべきこと (MA) —

第9問 あなたは、自衛隊は今後どのような面に力を入れていってらよいと思いますか。リストの中からいくつでもお答えください。

1. 国土の防衛 …………… 62.7 %
2. P K O (国連平和維持活動) への参加 …………… 44.2
3. 災害への対処 …………… 86.4
4. 不審船や武装作業員への対応 …………… 30.7
5. 自衛隊の存在は認めない …………… 1.2
6. その他 …………… 0.0
7. わからない、無回答 …………… 1.3

#### —中国の動きへの対応—

第10問 中国は、軍事力の増強を進め、日本の近海においても活動を活発化させています。あなたは、こうした中国の動きに対して、日本はどのような姿勢で対処すべきだと思いますか。リストの中から1つお答えください。

1. 日中2国間の関係を深めることで対処する …… 23.3 %
2. アメリカの軍事的抑止力によって対処する …… 9.2
3. 日本の防衛力を高めることによって対処する … 25.0
4. アジアの他の国との連携を強めることで対処する …………… 33.1
5. 特に対処する必要はない …………… 1.7
6. その他 …………… 0.1
7. わからない、無回答 …………… 7.6

#### —米軍基地と日本の安全—

第11問 復帰後も、沖縄に、アメリカ軍基地が残っていますが、あなたは、これについてどのように思いますか。リストの中から1つお答えください。

1. 日本の安全にとって必要である …………… 16.7 %
2. 日本の安全のためにやむをえない …………… 57.7
3. 日本の安全に必要でない …………… 16.6
4. 日本の安全にとってかえって危険である …… 4.5
5. わからない、無回答 …………… 4.7

#### —自衛隊と日本の安全—

第12問 復帰後、自衛隊が沖縄に配備されていますが、あなたは、これについてどのように思いますか。同じリストの中から1つお答えください。

1. 日本の安全にとって必要である …………… 33.4 %
2. 日本の安全のためにやむをえない …………… 48.7
3. 日本の安全に必要でない …………… 10.8
4. 日本の安全にとってかえって危険である …… 2.3
5. わからない、無回答 …………… 4.7

#### —与那国島への自衛隊配備と日本の安全—

第13問 中国の軍備増強に備えて、沖縄の一番西の与那国島にあらたに自衛隊を配備する動きがあります。あなたは、これについてどう思いますか。同じリストの中から1つお答えください。

1. 日本の安全にとって必要である …………… 26.9 %
2. 日本の安全のためにやむをえない …………… 40.4
3. 日本の安全に必要でない …………… 17.1
4. 日本の安全にとってかえって危険である …… 5.8
5. わからない、無回答 …………… 9.8

#### —米軍基地と仕事—

第14問 沖縄にアメリカ軍の基地があることは、沖縄県の人たちの暮らしや仕事に役立っていると思いますか。リストの中から1つお答えください。

1. 大きく役立っている …………… 15.0 %
2. どちらかといえば、役立っている …………… 52.4
3. どちらかといえば、役立っていない …… 20.2
4. 全然役立っていない …………… 4.9
5. わからない、無回答 …………… 7.4

#### —自衛隊基地と仕事—

第15問 では、沖縄に自衛隊の基地があることは、沖縄県の人たちの暮らしや仕事に役立っていると思いますか。リストの中から1つお答えください。

1. 大きく役立っている …………… 13.8 %
2. どちらかといえば、役立っている …………… 57.5
3. どちらかといえば、役立っていない …… 17.5
4. 全然役立っていない …………… 4.2
5. わからない、無回答 …………… 7.1

#### —米軍基地観—

第16問 沖縄のアメリカ軍基地について、あなたのお気持ちに近いものをリストの中から1つお答えください。

1. 全面撤去すべきだ …………… 9.0 %
2. 本土並みに少なくすべきだ …………… 52.1
3. 現状のままでよい …………… 34.0
4. もっと増やすべきだ …………… 1.1
5. わからない、無回答 …………… 3.8

一米軍基地の整理縮小一

第17問 沖縄のアメリカ軍基地の整理・縮小は進んだと思いますか。進んでいないと思いますか。

- 1. 進んだ .....5.7 %
- 2. 進んでいない ..... 70.7
- 3. どちらともいえない ..... 12.9
- 4. わからない、無回答 ..... 10.7

一米軍基地の整理縮小が進展しない理由一

第17問SQ [第17問で「2」の人に]「進んでいない」のはどうしてだと思いますか。あなたのお考えに近いものをリストの中から1つお答えください。

- 1. 国がアメリカとの交渉を積極的に進めないため ..... 26.6 %
- 2. アメリカ軍が沖縄の基地を重視しているため ..... 16.5
- 3. 他に基地を移転することが難しいため ..... 43.5
- 4. 日米安全保障条約があるため .....6.2
- 5. 県民が望んでいないため .....5.7
- 6. その他 .....0.1
- 7. わからない、無回答 .....1.4

(分母=790人)

一普天間基地の名護市移設の賛否一

第18問 アメリカ軍普天間基地の返還にあたって、代わりの施設を名護市に移設することについて、どう思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 賛成 .....5.8 %
- 2. どちらかといえば、賛成 ..... 30.3
- 3. どちらかといえば、反対 ..... 34.0
- 4. 反対 ..... 10.9
- 5. わからない、無回答 ..... 19.0

一名護市移設・賛成理由一

第18問SQ1 [第18問で「1」「2」の人に] あなたが、そうお考えになる主な理由をリストの中から1つお答えください。

- 1. 住宅が隣接する普天間基地の危険性を早く取り去ることが重要だから ..... 41.4 %
- 2. 移設を受け入れることが沖縄の経済振興につながるから ..... 22.1
- 3. 名護市以外への移設は難しいから ..... 24.6
- 4. 名護市に移設することが、国の防衛上必要だから .....8.9
- 5. その他 .....0.5
- 6. わからない、無回答 .....2.5

(分母=403人)

一名護市移設反対の人に、どこに移設すべきか一

第18問SQ2 [第18問で「3」「4」の人に] それではあなたは、普天間基地の移設について今後どうすべきだと思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 沖縄県内の他の場所に移設すべきだ .....5.6 %
- 2. 国内の沖縄県以外の場所に移設すべきだ ..... 16.3
- 3. 海外に移設すべきだ ..... 39.6

- 4. 代わりの施設は作らずに撤去すべきだ ..... 17.3
- 5. 普天間にそのまま残しておくべきだ ..... 16.1
- 6. その他 .....1.4
- 7. わからない、無回答 .....3.6

(分母=502人)

一政権評価一

第19問 民主党政権は、普天間基地の移設について、当初「県外を目指す」としていましたが、結局県内移設でアメリカと合意しました。このことについて2つに分けてうかがいます。

- A. まず、「県内移設」でアメリカと合意したことについてどう思いますか。リストの中から1つお答えください。
- B. では、当初「県外を目指す」という姿勢を示したことについてどう思いますか。リストの中から1つお答えください。

	1. 高く 評価する	2. ある 程度 評価する	3. あまり 評価 しない	4. まったく 評価 しない	5. わから ない、 無回答
(%)					
A.「県内移設」でアメリカと合意したこと	3.2	27.7	39.9	22.5	6.7
B.当初「県外を目指す」という姿勢を示したこと	8.4	31.9	30.3	22.4	7.0

一沖縄に基地が集中していることについて一

第20問 在日アメリカ軍の専用施設の74%が沖縄に集中しています。このことについてあなたはどう思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. おかしいと思う ..... 24.9 %
- 2. どちらかといえばおかしいと思う ..... 42.7
- 3. どちらかといえばおかしいと思わない ..... 16.8
- 4. おかしいと思わない .....8.4
- 5. わからない、無回答 .....7.2

一沖縄の振興策評価一

第21問 国は、復帰してから40年間にわたって沖縄の振興策を実施してきました。あなたは、こうした振興策が、沖縄の発展にどの程度役立ったと思いますか。

- 1. 非常に役立った .....9.1 %
- 2. ある程度役立った ..... 58.0
- 3. あまり役立たなかった ..... 19.8
- 4. まったく役立たなかった .....1.3
- 5. わからない、無回答 ..... 11.7

一復帰特別施策への考え方一

第22問 他の都道府県よりも高い補助金が受けられる高率補助など、現在行われているような沖縄の復帰に伴う国の特別な施策について、あなたはどう思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. もうやめるべきだ ..... 16.8 %

- 2. 今のまま続けるべきだ …………… 68.0
- 3. さらに強化すべきだ …………… 5.7
- 4. わからない、無回答 …………… 9.4

—本土の人は沖縄の人を理解しているか—

第23問 ところで、現在、沖縄以外に住んでいる本土の人は、沖縄の人の気持ちを理解していると思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 十分理解している …………… 3.3 %
- 2. まあ理解している …………… 23.0
- 3. あまり理解していない …………… 61.3
- 4. まったく理解していない …………… 8.1
- 5. わからない、無回答 …………… 4.2

—沖縄の人は本土の人を理解しているか—

第24問 では、沖縄の人は、本土の人の気持ちを理解していると思いますか。同じリストの中から1つお答えください。

- 1. 十分理解している …………… 1.1 %
- 2. まあ理解している …………… 22.1
- 3. あまり理解していない …………… 60.5
- 4. まったく理解していない …………… 5.6
- 5. わからない、無回答 …………… 10.7

—これからの沖縄への期待（L A）—

第25問 あなたは、これからの沖縄は、どうなつてほしいと思いますか。リストの中から3つまであげてください。

- 1. 沖縄独自の文化がさらに盛んになってほしい … 63.1 %
- 2. 本土と文化や教育の面でも共通になってほしい … 35.9
- 3. 沖縄らしいところの豊かさが生きてほしい … 66.4
- 4. 本土並みに経済的に豊かになってほしい …… 44.5
- 5. 軍事基地がなくなつてほしい …………… 20.9
- 6. 国際的に開かれてほしい …………… 18.9
- 7. その他 …………… 0.3
- 8. わからない、無回答 …………… 2.9

—沖縄訪問・居住歴—

第26問 あなたは、これまでに沖縄に行ったり、住んだりしたことがありますか。

- 1. 行ったことがある・住んだことがある  
・今住んでいる …………… 44.2 %
- 2. 行ったことはない …………… 55.3
- 3. わからない、無回答 …………… 0.4

—天皇観—

第27問 話は変わりますが、あなたは、「天皇は尊敬すべき存在だ」と思いますか。そうは思いませんか。

- 1. そう思う …………… 71.8 %
- 2. そうは思わない …………… 12.8
- 3. どちらともいえない …………… 13.2
- 4. わからない、無回答 …………… 2.1

—憲法観—

第28問 あなたは、憲法について、どのようなお考えをお持ちですか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 今の憲法は、国民にとってほしい理想的なもので、その考え方はほぼ実現されている …… 15.3 %
- 2. 憲法の考え方そのものは、国民にとってほしい理想的なものだが、現実とはかなり開きがある …………… 44.3
- 3. 今の憲法は、日本の実情からみて望ましいものではないが、現実には定着している …… 22.7
- 4. 今の憲法は、日本の実情からみて望ましいものではなく、また現実ともかけ離れている …… 7.3
- 5. その他 …………… 0.2
- 6. わからない、無回答 …………… 10.1

—憲法改正の是非—

第29問 あなたは、今の憲法を改正する必要があると思いますか。それとも、改正する必要はないと思いますか。

- 1. 改正する必要があると思う …………… 56.8 %
- 2. 改正する必要はないと思う …………… 22.6
- 3. どちらともいえない …………… 12.4
- 4. わからない、無回答 …………… 8.1

—憲法改正・賛成の理由—

第29問SQ1 [第29問で「1」の人に] それでは、あなたが改正する必要があるという理由は何ですか。あなたが最も重要だと思う理由を、リストの中から1つお答えください。

- 1. アメリカに押しつけられた憲法だから …………… 10.9 %
- 2. 国際社会での役割を果たすために必要だから … 12.0
- 3. 時代が変わつて対応できない  
問題が出てきたから …………… 76.7
- 4. その他 …………… 0.0
- 5. わからない、無回答 …………… 0.5

(分母= 634人)

—憲法改正・反対の理由—

第29問SQ2 [第29問で「2」の人に] それでは、あなたが改正する必要がないという理由は何ですか。あなたが最も重要だと思う理由を、リストの中から1つお答えください。

- 1. 全体として、今の憲法がいい憲法だと思うから … 19.4 %
- 2. 多少問題はあつるが、  
改正するほどのことはないから …………… 51.4
- 3. 戦争の放棄を定めた第9条を守りたいから …… 28.5
- 4. その他 …………… 0.0
- 5. わからない、無回答 …………… 0.8

(分母= 253人)

—9条の評価—

第30問 憲法第9条は、戦争を放棄し、戦力を持たないことを決めています。あなたは、この第9条は、日本の平和と安全に、どの程度役立っているとお考えですか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 非常に役に立っている …………… 24.8 %

- 2. ある程度役に立っている ..... 50.7
- 3. あまり役に立っていない ..... 15.8
- 4. まったく役に立っていない ..... 3.1
- 5. わからない、無回答 ..... 5.6

－ 9条改正の是非－

第31問 あなたは、いわゆる「戦争の放棄」を定めた第9条を改正する必要があると思いますか。それとも改正する必要はないと思いますか。

- 1. 改正する必要があると思う ..... 25.6 %
- 2. 改正する必要はないと思う ..... 58.1
- 3. どちらともいえない ..... 9.4
- 4. わからない、無回答 ..... 6.9

－ 9条改正・改正内容－

第31問SQ [第31問で「1」の人に] では、あなたは、その第9条をどのように改正すべきだとお考えですか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 自衛力を持つてることを明記して、国の防衛やPKO（国連平和維持活動）にあたる ..... 45.8 %
- 2. 自衛力を持つてることを明記するとともに、国連を中心とする軍事活動に参加できるようにする ..... 28.0
- 3. 自衛力を持つてることを明記するとともに、同盟国を助ける軍事活動にも参加できるようにする ..... 23.4
- 4. 自衛隊を含めた軍事力を放棄する ..... 1.4
- 5. その他 ..... 0.0
- 6. わからない、無回答 ..... 1.4

(分母= 286人)

－日本の安全を守る方策－

第32問 あなたは、これからの日本の安全を守っていくうえで、どのような方法が一番よいと思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. ある程度の防衛力を持って、アメリカとの協力関係を続けていく ..... 38.4 %
- 2. 国連に協力して国際的な安全保障体制を築いていく ..... 46.5
- 3. 日本独自の防衛力だけで、外国からの侵略に備えていく ..... 6.4
- 4. いっさいの防衛力を持たないで、中立を保っていく ..... 3.3
- 5. その他 ..... 0.0
- 6. わからない、無回答 ..... 5.4

－侵略を受ける危険性－

第33問 あなたは、現在の世界の情勢から考えて、日本が戦争や紛争に巻き込まれたり、他国から侵略を受けたりする危険性がどの程度あると思いますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 非常に危険がある ..... 16.8 %
- 2. ある程度危険がある ..... 62.9
- 3. あまり危険はない ..... 15.9
- 4. まったく危険はない ..... 1.3
- 5. わからない、無回答 ..... 3.0

－安全保障面での脅威感－

第34問 リストのAからDについて、あなたは、安全保障の面でどの程度脅威を感じますか。AからDのそれぞれについて、リストの中から1つお答えください。

	1. 大いに脅威を感じる	2. ある程度脅威を感じる	3. あまり脅威を感じない	4. まったく脅威を感じない	5. わからない、無回答
(%)					
A. ロシアの極東における軍の活動活発化の傾向	15.8	43.8	27.9	3.7	8.8
B. 北朝鮮による核開発や弾道ミサイル実験などの挑発的な行動	57.6	33.2	5.8	0.8	2.6
C. 中国の軍事力増強や、海洋における活動の拡大・活発化	47.6	39.2	7.2	1.3	4.7
D. 韓国との間で竹島の領有権をめぐる問題があること	19.6	40.8	29.8	4.6	5.2

－支持政党－

第35問 あなたは、ふだん、どの政党を支持していますか。

- 1. 民主党 ..... 11.7 %
- 2. 自民党 ..... 17.8
- 3. 公明党 ..... 2.7
- 4. みんなの党 ..... 2.0
- 5. 共産党 ..... 0.8
- 6. 社民党 ..... 0.5
- 7. たちあがれ日本 ..... 0.1
- 8. 新党きつな ..... 0.0
- 9. 国民新党 ..... 0.1
- 10. 新党大地・真民主 ..... 0.0
- 11. 新党改革 ..... 0.0
- 12. 社会大衆党 ..... 0.0
- 13. その他の政治団体 ..... 0.5
- 14. 特に支持する政党はない ..... 61.5
- 15. わからない、無回答 ..... 2.2

－政治の満足感－

第36問 あなたは全体として、今の政治にどの程度満足していますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 満足している ..... 0.6 %
- 2. どちらかといえば、満足している ..... 12.5
- 3. どちらかといえば、不満だ ..... 52.4
- 4. 不満だ ..... 32.1
- 5. わからない、無回答 ..... 2.4

－政治への関心－

第37問 あなたは、政治問題にどの程度関心がありますか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 非常に関心がある ..... 19.7 %

- 2. ある程度関心がある ..... 61.9
- 3. あまり関心はない ..... 15.6
- 4. まったく関心はない ..... 2.6
- 5. わからない、無回答 ..... 0.3

－暮らし向き・1年前との比較－

第38問 あなたの暮らし向きは、1年前とくらべて、楽になったでしょうか。それとも苦しくなったでしょうか。リストの中から1つお答えください。

- 1. 楽になった ..... 1.1 %
- 2. 少し楽になった ..... 2.9
- 3. 変わらない ..... 59.3
- 4. 少し苦しくなった ..... 26.9
- 5. 苦しくなった ..... 9.6
- 6. わからない、無回答 ..... 0.4

－暮らし向き・今後－

第39問 あなたの暮らし向きは、今後どうなるとお考えですか。リストの中からあなたのお感じに近いものを1つお答えください。

- 1. 楽になるだろう ..... 1.0 %
- 2. 少し楽になるだろう ..... 4.0
- 3. 変わらないだろう ..... 32.4
- 4. 少し苦しくなるだろう ..... 40.4
- 5. 苦しくなるだろう ..... 20.4
- 6. わからない、無回答 ..... 1.8

－市民意識－

第40問 あなたの今の生き方について、リストの中から最も近いものを1つお答えください。

- 1. 社会のために必要なことを考え、みんなと力を  
合わせ、世の中をよくするように心がけている ..... 11.2 %
- 2. 自分の生活とのかかわりの範囲で  
自分なりに考え、身近なところから  
世の中をよくするように心がけている ..... 49.1
- 3. 決められたことには従い、  
世間に迷惑をかけないように心がけている ..... 30.2
- 4. 自分や家族の生活を充実させることを  
第一に考え、世間のことには  
かかわらないよう心がけている ..... 7.2
- 5. どれもいえない ..... 2.1
- 6. わからない、無回答 ..... 0.4

－職業－

第41問 (省略)

【全国 (安保) 調査】

●サンプル構成比

全体	性		年代					
	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70以上
1,117人	518	599	83	184	199	185	237	229
100.0%	46.4	53.6	7.4	16.5	17.8	16.6	21.2	20.5

全体	男の年層						女の年層					
	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	20代	30代	40代	50代	60代	70以上
1,117人	35	94	89	86	105	109	48	90	110	99	132	120
100.0%	3.1	8.4	8.0	7.7	9.4	9.8	4.3	8.1	9.8	8.9	11.8	10.7

●不能理由

全体	有効	不能合計	不能理由										
			場所不明	転居	1年以上不在	10日以上不在	10日未満不在	深夜帰宅	外出	自宅療養	拒否	その他	死亡
1,800人	1,117	683	17	102	12	67	10	58	90	55	266	2	4
100.0%	62.1	37.9	0.9	5.7	0.7	3.7	0.6	3.2	5.0	3.1	14.8	0.1	0.2